大学機関別認証評価

自己評価書

令和5年6月

琉球大学

目 次

I	大学の現況、目的及び特徴	1
II	基準ごとの自己評価	
	領域1 教育研究上の基本組織に関する基準	6
	領域2 内部質保証に関する基準	11
	領域3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準	25
	領域4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準	32
	領域5 学生の受入に関する基準	38
	領域6 教育課程と学習成果に関する基準	44
	基準の判断 総括表	44
	人文社会学部	45
	国際地域創造学部	49
	教育学部	53
	理学部	57
	医学部	61
	工学部	65
	農学部	69
	人文社会科学研究科	73
	地域共創研究科	87
	教育学研究科	101
	医学研究科	105
	保健学研究科	109
	理工学研究科	113
	農学研究科	130
	法務研究科	134

I 大学の現況、目的及び特徴

1 現況

- (1) 大学名 琉球大学
- (2) 所在地 沖縄県中頭郡西原町
- (3) 教育研究上の基本組織

学士課程	人文社会学部、国際地域創造学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部
大学院課程	人文社会科学研究科、地域共創研究科、教育学研究科、医学研究科、保健学研究科、理工学研究科、農学研究科、法務研究科

- (4) 学生数及び教員数（令和5年5月1日現在）

学生数	学部6,990人、大学院906人
教員数	専任教員数：804人、助手数：0人

2 大学等の目的

(1) 大学の目的

琉球大学（以下「本学」という。）は、広く教養的知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

（琉球大学学則第1条）

(2) 大学院の目的

琉球大学大学院（以下「大学院」という。）は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 大学院のうち専門職大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

（琉球大学大学院学則第1条）

(3) 学部・研究科ごとの教育研究上の目的

【人文社会学部】

人文社会学系の専門的、学際的分野において真理を探究し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成する。

(琉球大学人文社会学部規程第2条第1項)

【国際地域創造学部】

複合分野（観光、経営、経済、文学・言語、地理・歴史・人類学）の学際的学び及び各専門分野における体系的な学びを通して、「専門基盤力と地域国際基盤力」を身につけ、複雑化・多様化する国際及び地域課題に挑戦し、解決する高い専門能力を有する人材を養成する教育・研究を行う。

(琉球大学国際地域創造学部規程第2条)

【教育学部】

教科に関する知識及びカリキュラムを構成する力に支えられた授業力並びに他者と対話しながら教育課題に向き合っ学びの場をコーディネートする力を、関連諸分野の学修・研究及び多様な現場実践を通して習得させることにより、次の各号に掲げる人材を養成することを目的とする。

- (1) 子ども及び教育に関する臨床的課題に気付き、その解決に取り組むことができる教員
- (2) 学校の内外で、学校教育の一貫性を見据えて総合的に連携・協働に取り組むことができる教員
- (3) 学習指導及び生活指導を両輪とする実践力のある教員

(琉球大学教育学部規程第2条)

【理学部】

普遍的な基礎科学の重要性を念頭に置き、優れた人材の育成と理学分野の研究の発展を目指し、更に、亜熱帯島嶼の特性を生かした特色のある教育研究を推進することを目的とする。

(琉球大学理学部規程第3条第1項)

【医学部】

- (1) 島嶼環境にある沖縄県のおかれた自然的・地理的条件並びに歴史的背景をふまえ、地域医療を充実させる。
- (2) 国民の医療、福祉、保健の向上に貢献するとともに、南に開かれた国際性豊かな医学部として発展させ、東南アジアを主とする諸外国との学術交流及び保健・医療協力を寄与する。

(琉球大学医学部規程第2条の2)

【工学部】

今日の工業・技術社会の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力及び高度で最新の専門知識を身につけ、安心・安全な社会の創出及び地域環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を備えた人材を育成し、基礎科学研究の成果を、実際の産業や人間の生活・福祉等に役立てるよう応用・開発することを目的とする。

(琉球大学工学部規程第2条)

【農学部】

本学部は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然環境条件及び歴史的・文化的特性を活かし、生物の生存環境と人間の共生を目指して、持続的食料生産、地域農業、環境保全、生物資源・エネルギー利用、栄養・健康・長寿及び発酵・生命に関する専門教育と研究を深化させ、その成果の蓄積・活用と人材育成によって、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することを目的とする。

(琉球大学農学部規程第2条第2項)

【人文社会科学研究科（博士後期課程）】

沖縄の持つ地理的・歴史的・文化的諸条件を生かした創造的な学術研究と教育を目指し、グローバルな視点から現代社会や地域の課題に柔軟に対応できる先端的な学識と技能を持つ高度専門職業人と研究者の養成を目的とする。

(琉球大学大学院人文社会科学研究科規程第2条第2項)

【地域共創研究科】

現代の地域社会及びグローバル社会の直面する多様な課題を俯瞰的に理解し、地域が今日直面する課題を解決するための具体的な方法を、それぞれが立脚する専門的見地から究明し、その解決に向けて主体的に思考し行動できる実践力と高い研究倫理観を有する高度専門職業人を養成することを目的とする。

(琉球大学大学院地域共創研究科規程第2条)

【教育学研究科】

教員としての基礎的資質のうえに、学校教育に関するより高度な理論的基盤及び理論と実践に裏打ちされた実践的指導力を培い、未来を担う子どもたちの教育に専門的力量とリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とする。

(琉球大学大学院教育学研究科規程第2条)

【医学研究科】

南に開かれた地域特性を踏まえ、医学の分野において、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備え、かつ、教育・研究及び診療の分野で指導的役割を担う人材の養成を図ることを目的とする。

(琉球大学大学院医学研究科規程第1条の2)

【保健学研究科】

広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的とする。

(琉球大学大学院保健学研究科規程第1条の2)

【理工学研究科】

理工学の理論及び応用を教授研究し、学術の深化と科学技術の発展に寄与するとともに、広い視野を持ち高度の専門知識と技術を兼ね備えた人材を養成することを目的とする教育・研究を行う。

(琉球大学大学院理工学研究科規程第2条)

【農学研究科】

「21世紀の地球化の時代に求められる、環境と調和した生物資源の安定生産と持続的利用を通じて豊かな社会の構築を目指す新たな農学」を基本理念とし、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境及び歴史的・文化的特性に基づいた持続的食料生産、環境保全、資源・エネルギー利用及び長寿・健康に関する教育と研究を深化させ、高度専門職業人の人材養成と、その養成を通じて地域社会並びに国際社会に貢献することを教育・研究上の目的とする。

(琉球大学大学院農学研究科規程第2条第2項)

【法務研究科】

人間関係や社会問題に対する深い洞察力と専門的職業人としての高い倫理観を備え、地域にこだわりつつ世界を見つめ、性の多様性を尊重する法曹人を養成するとともに、法律学の理論的・臨床的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的とする。

(琉球大学大学院法務研究科規程第2条)

3 特徴

(1) 沿革～特異な設立経緯と開学、国立移管～

本学は、地域や海外在住の沖縄県系の人々の熱望により、戦後間もない1950年5月22日、首里城跡地に開学した。建学の精神は「自由平等、寛容平和」であり、これはエイブラハム・リンカーン（米国合衆国第16代大統領）の理念を反映するとともに、沖縄の歴史と文化に根ざしたものである。開学以来、亜熱帯に位置する島嶼県の沖縄にあって、地域の持つ固有の生態系と特色ある伝統文化、多くの国々との交流の歴史により多文化共生社会等の“豊かな地域特性”に立脚した教育研究を推進し、戦後復興を担う人材を多数輩出するとともに、

「Land Grant University」の理念に則って、大学教職員による教育研究成果の組織的な社会還元にも尽力してきた。

本学は、1972年5月15日の本土復帰により、琉球政府立の大学から国立に移管され、沖縄県唯一の国立総合大学となった。以後、総合大学に相応しい教育研究組織の拡充・整備を行いつつ、日本のみならずアジア・太平洋地域までを射程に捉え、島嶼・海洋環境科学研究、健康長寿科学研究、琉球・沖縄文化研究等の地域特性を活かした研究を推進し、深い学識と豊かな人間性を基盤に地域及び国際社会で活躍できる人材の育成に一貫して取り組み、地域社会はもとより、我が国の学術や社会・文化の発展に大きく貢献している。

(2) 国立大学法人～教育改革、研究力向上、地域連携・社会貢献の拡大～

国立大学法人となった本学は、第1期中期目標期間において、法曹養成分野、高度医療・地域医療分野、観光産業分野、農学分野等の教育研究組織の改編に取り組み、法科大学院の設置、医学研究科修士課程の設置、保健学研究科博士課程の設置、観光産業科学部及び観光科学研究科の設置、農学部改組を行って、地域ニーズに応え、かつ知識基盤社会に相応しい教育研究組織の基盤整備を推進した。第2期中期目標期間においては、本学の特色・強みづくりの活動を促進する観点から教育研究組織を見直し、グローバル化と地域創生・振興を担う高度専門人材の育成、島嶼、海洋、熱帯・亜熱帯、健康長寿の4つの分野に関する研究力の向上を目指して、農学分野（農学研究科改組）、高度医療・地域医療分野（医学研究科改組）、教員養成分野（教職大学院設置計画）における教育研究組織の改編を進めた。さらに、第3期中期目標期間においては、創設当初からの「Land Grant University」の理念のもと、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」及び「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を目指す2つの長期ビジョンを掲げ、沖縄や日本、世界に貢献できる教育研究拠点の形成に取り組み、特に、教育学部、工学部、理工学研究科の改組や人文社会学部及び国際地域創造学部の設置を行ったほか、グローバル教育支援機構を中心に教育改革を推進する体制を整備した。

(3) 大学独自の中期将来ビジョンの実現に向けて

また、第4期中期目標期間を前に、これまでの伝統や取組、基本的なビジョンを基盤に、SDGsの掲げる2030年を視野に入れた「琉球大学の中期将来ビジョン」を策定し、「教育」分野を包括する展望を、「沖縄には、島嶼地域の多様な自然環境・固有の文化・島相互あるいは周辺諸国・地域との関わりの歴史があります。琉球大学は、これらの地域特性を活かしながら、学修者本位の教育を行います。」として示した。

第4期中期目標期間においては、この脈絡を踏まえ、中期目標の前文において、教育の取組を「沖縄の多様な自然環境、固有の文化、島相互あるいは周辺諸国・地域との関わりの歴史などの地域特性を活かして、学修者本位の教育を行い、優れた人材を社会に輩出する。」と掲げ、この目標を達成すべく、企業人など多様な人々との協働による学びの環境と留学やPBLなど積極的・能動的な授業や学修機会の充実に取り組んでいる。

II 基準ごとの自己評価

領域1 教育研究上の基本組織に関する基準

：「該当なし」

基準1-1 教育研究上の基本組織が、大学等の目的に照らして適切に構成されていること

分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
<p>[分析項目1-1-1] 学部及びその学科並びに研究科及びその専攻の構成（学部、学科以外の基本的組織を設置している場合は、その構成）が、大学及びそれぞれの組織の目的を達成する上で適切なものとなっていること</p>	<p>・自己評価書の「I 大学の現況、目的及び特徴」に記載のため、新たな資料は不要</p>		
	<p>・前回評価以降に改組があった場合は、大学の設置等の認可申請・届出に係る提出書類の様式（別記様式第2号（その1の1）基本計画書）</p>		
	<p>1-1-1-01 設置計画の概要(H29工学部)</p>		
	<p>1-1-1-02 基本計画書(H30医学部)</p>		
	<p>1-1-1-03 設置計画の概要(H30人文社会学部)</p>		
	<p>1-1-1-04 設置計画の概要(H30国際地域創造学部)</p>		
	<p>1-1-1-05 設置計画の概要(H31教育学研究科)</p>		
	<p>1-1-1-06 基本計画書(R2医学部)</p>		
	<p>1-1-1-07 基本計画書(R3理工学研究科)</p>		
	<p>1-1-1-08 基本計画書(R4地域共創研究科)</p>		
<p>・共同教育課程等を置いている場合は、大学間で取り交わされた協定書、教育課程の編成・実施その他運営のための協議会の設置を定める文書及びその協議会の開催状況が分かる資料</p>			
<p>・文部科学大臣の認定を受けている法曹養成連携協定がある場合は、大学間で取り交わされた有効な協定書</p>			
<p>・大学設置基準第57条等により、教育課程等に関する事項の改善に係る先導的な取組に関する特例の認定を受けている場合は、申請書（様式1）、申請計画書（様式2）、教育課程等特例認定大学等の認定等に関する規程第1条各号（第4号及び第5号を除く。）に掲げる基準に適合することを証する書類（様式3）、及び認定結果通知</p>			

【特記事項】

① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。

[分析項目1-1-1]
(平成29年4月 工学部の設置)
工学部の理念である地域産業の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度で最新の専門知識を身につけ、安心・安全な社会の創出および環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を兼ね備えた高度理工系人材を養成することを目的とし、平成29年度に改組した。

[分析項目1-1-1]
(平成30年4月 医学部収容定員増)
医師の偏在化により、医師不足が深刻化している複数の診療科の人材及び地域の医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人材を育成し、地域の医療を担う県立病院（八重山病院、宮古病院、北部病院など）及び診療所への派遣を目的として、平成29年度で終了する医学部医学科における入学定員の暫定措置による2名の再度の定員増を目的とし、平成30年度に収容定員を増加した。

<p>【分析項目1-1-1】 (平成30年4月 人文社会学部の設置) 人文社会学系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を始めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材を養成することを目的とし、平成30年度に改組した。</p>
<p>【分析項目1-1-1】 (平成30年4月 国際地域創造学部の設置) 地域の中核的拠点大学を目指す本学において、グローバルな視野を持ち、産業、地域及び文化の振興と多様化する地域課題の解決を担う実践的な能力を有する人材を養成することを目的とし、平成30年度に改組した。</p>
<p>【分析項目1-1-1】 (平成31年4月 教育学研究科の設置) 教育学研究科では、平成28年度の「専門職学位課程」の設置により、既存の「修士課程」との2つの課程によって、学校教育に関するより高度な理論的基盤と実践力を有する人材を養成してきた。令和元年度には、専門職学位課程において特別支援学校教諭の専修免許状の取得が可能になったことに伴い、同課程の定員を14名から20名とする改組を行った。また、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書」(平成29年8月29日)における「教員養成機能の修士課程からの移行」などの方向性を踏まえ、令和元年度をもって修士課程の入試を停止し、令和2年度以降は、唯一の課程となった専門職学位課程において、大学院教育学研究科の機能を強化し、学校教育現場が抱える現代的・地域的な課題の解決に資する人材の育成に取り組んでいる。</p>
<p>【分析項目1-1-1】 (令和2年4月 医学部収容定員増) 地域における医師不足を踏まえて、地域の医療を担う県立病院(八重山病院、宮古病院、北部病院など)及び診療所への医師の派遣を目的として、令和2年度の入学定員を増加した。</p>
<p>【分析項目1-1-1】 (令和3年4月 理工学研究科の設置) 社会が工学系に求めている学術界の高度研究人材と産業界が求める先端実務人材の量的拡大と質的充実を図るとともに、国際社会に貢献できる人材を養成することを目的とし、令和3年度に設置した。</p>
<p>【分析項目1-1-1】 (令和4年4月 地域共創研究科の設置) 現代の地域社会及びグローバル社会の直面する多様な課題を俯瞰的に理解し、地域が今日直面する課題を解決するための具体的な方法を、それぞれが立脚する専門的見地から究明し、その解決に向けて主体的に思考し行動できる実践力と高い研究倫理観を有する高度専門職業人を養成することを目的とし、令和4年度に設置した。</p>
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p>
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>
<p>【改善を要する事項】</p>

基準1-2 教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目1-2-1] 大学設置基準等各設置基準に照らして、必要な人数の教員を配置していること	・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（改正前基準） 認証評価共通基礎データ様式様式1（改正前基準）		
	※ 基幹教員制度を導入している場合 ・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（改正後基準）		
[分析項目1-2-2] 教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと	・ 教員の年齢別・性別内訳（別紙様式1-2-2） 1-2-2_教員の年齢別・性別内訳		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
[活動取組1-2-A] 「女性限定公募」を実施し、直接的に女性教員比率の向上に取り組んでいるほか、公募要項に「女性を優先的に採用」することを明記し、女性が応募しやすい工夫を行っている。	1-2-A-01_令和4年度教員ポスト戦略的再配分(重点改革推進枠)申請書の提出について(通知)(非公表)		
	1-2-A-02_【公募要項】琉球大学国際地域創造学部_スペイン語学等(非公表)		
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準1-3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目1-3-1] 教員の組織的な役割分担の下で、教育研究に係る責任の所在が明確になっていること	・教員組織と教育組織の対応表（別紙様式1-3-1）		
	1-3-1 教員組織と教育組織の対応表		
	・組織体制が確認できる規定類（学則、運営組織規定）		
	1-3-1-01 国立大学法人琉球大学組織規則		
	1-3-1-02 琉球大学学則		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則		
	1-3-1-04 琉球大学に置く講座等に関する規程		
	・責任体制が確認できる規定類（学則、運営組織規定）		
	1-3-1-01 国立大学法人琉球大学組織規則		再掲
	1-3-1-02 琉球大学学則		再掲
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則		再掲
1-3-1-04 琉球大学に置く講座等に関する規程		再掲	
・責任者の氏名が分かる資料			
1-3-1-05 役員、学部長等			
[分析項目1-3-2] 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること	・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式1-3-2）		
	1-3-2 規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧		
	・教授会等の運営規定等		
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則		
	1-3-2-02 琉球大学教授会等通則第3条第1項第3号の「学長が定めるもの」について		
	1-3-2-03 琉球大学人文社会学部教授会規程		
	1-3-2-04 琉球大学国際地域創造学部教授会規程		
	1-3-2-05 琉球大学教育学部教授会規程		
	1-3-2-06 琉球大学理学部教授会規程		
	1-3-2-07 琉球大学医学部教授会規程		
	1-3-2-08 琉球大学工学部教授会規程		
	1-3-2-09 琉球大学農学部教授会規程		
	1-3-2-10 琉球大学大学院人文社会科学研究科委員会規程		
	1-3-2-11 琉球大学大学院地域共創研究科委員会規程		
	1-3-2-12 琉球大学大学院教育学研究科委員会規程		
	1-3-2-13 琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程委員会規程		
	1-3-2-14 琉球大学大学院理工学研究科委員会規程		
	1-3-2-15 琉球大学大学院医学研究科教授会規程		
1-3-2-16 琉球大学大学院保健学研究科委員会規程			
1-3-2-17 琉球大学大学院保健学研究科博士後期課程委員会規程			
1-3-2-18 琉球大学大学院農学研究科委員会規程			

<p>【分析項目1-3-3】 全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること</p>	<p>1-3-2-19 琉球大学大学院法務研究科委員会規程</p> <p>・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式1-3-3）</p> <p>1-3-3 規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧</p> <p>・運営規定等</p> <p>1-3-3-01 国立大学法人琉球大学教育研究評議会規程</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>【分析項目1-3-1】 組織規則第30条において、「第27条第1項に掲げる学部及び第29条第2項に掲げる大学院研究科(以下「学部等」という。)に、講座、学科目又はこれに相当する教員組織(以下「講座等」という。)を置く。」とあり、これに基づき「琉球大学に置く講座等に関する規程」を定めているが、この規程は、学部及び大学院研究科が教育研究分野又は領域を定め組織を細分化したものに過ぎず、本学の教育研究組織の基礎となるものは「各学部」及び「法務研究科」であり、これが教員組織に該当する。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。</p>			
<p>■ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

II 基準ごとの自己評価

領域2 内部質保証に関する基準

：「該当なし」

基準2-1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目2-1-1] 大学等の教育研究活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、向上を図ることを目的とした全学的な体制（以下「機関別内部質保証体制」という。）を整備していること	・内部質保証に係る責任体制等一覧（別紙様式2-1-1） 2-1-1 内部質保証に係る責任体制等一覧		
	・明文化された規定類 2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		
	2-1-1-02 国立大学法人琉球大学理事，副理事，学長補佐及び琉球大学副学長の職務分担について		
	2-1-1-03 国立大学法人琉球大学自己点検・評価会議規程		
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程		
	2-1-1-05 国立大学法人琉球大学研究に関する自己点検・評価委員会規程		
	2-1-1-06 国立大学法人琉球大学国際交流に関する自己点検・評価委員会規程		
	2-1-1-07 国立大学法人琉球大学社会連携に関する自己点検・評価委員会規程		
	2-1-1-08 国立大学法人琉球大学管理運営に関する自己点検・評価委員会規程		
	2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程		
[分析項目2-1-2] それぞれの教育研究上の基本組織が、教育課程について責任をもつように質保証の体制が整備されていること	・教育研究上の基本組織一覧（別紙様式2-1-2） 2-1-2 教育研究上の基本組織一覧		
	・明文化された規定類 2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		再掲
	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		
	2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ		
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程		再掲
	2-1-2-03 琉球大学大学教育運営規則		
	2-1-2-04 琉球大学大学院教育プログラムに関する規程		
	2-1-2-05 琉球大学人文社会学部各種委員会規程		
	2-1-2-06 琉球大学国際地域創造学部各種委員会規程		
	2-1-2-07 琉球大学教育学部自己評価委員会規程		
	2-1-2-08 琉球大学理学部各種委員会規程		
	2-1-2-09 琉球大学大学院医学研究科・医学部自己点検評価・改善委員会要項		
	2-1-2-10 琉球大学工学部及び大学院理工学研究科(工学系)各種委員会等規程		
	2-1-2-11 琉球大学農学部各種委員会規程		
	1-3-2-10 琉球大学大学院人文社会科学研究科委員会規程		再掲
	1-3-2-11 琉球大学大学院地域共創研究科委員会規程		再掲
2-1-2-12 琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻会議規程			
1-3-2-16 琉球大学大学院保健学研究科委員会規程		再掲	

	1-3-2-14 琉球大学大学院理工学研究科委員会規程		再掲
	1-3-2-18 琉球大学大学院農学研究科委員会規程		再掲
	2-1-2-13 法務研究科における各種委員会・委員の設置及び所掌事項に関する申し合わせ		
	・評価実施年度における当該共同学科等の教育課程に関する報告書（関与するすべての大学の名義で作成されたもの）		
【分析項目2-1-3】 施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に関して質保証について責任をもつ体制を整備していること	・質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（別紙様式2-1-3）		
	2-1-3 質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧		
	・明文化された規定類		
	2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		再掲
	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲
	2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ		再掲
	2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ		
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程		再掲
	2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程		再掲
【分析項目2-1-4】 研究活動、地域貢献活動又は教育の国際化の組織的取組が行われている場合には、その質保証について責任をもつ体制を整備していること（より望ましい取組として分析）	・研究活動、地域貢献活動及び教育の国際化の組織的取組の質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（別紙様式2-1-4）		
	・明文化された規定類		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準2-2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目2-2-1] それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順を有していること (1) 学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること (2) 教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること (3) 学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること	・明文化された規定類		
	2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		再掲
	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲
	2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ		再掲
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程		再掲
	2-2-1-01 大学機関別認証評価に係る自己評価書等の作成について(依頼)(非公表)		
	2-2-1-02 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20221110(非公表)		
	2-2-1-03 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20230317(非公表)		
	2-2-1-04 自己点検・評価の実施について(依頼)20221205(非公表)		
	2-2-1-05 教職課程における自己点検・評価の実施に係る各学部での取組状況について(依頼)(非公表)		
[分析項目2-2-2] 教育課程ごとの点検・評価において、領域6の各基準に照らした判断を行うことが定められていること	・教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧（別紙様式2-2-2）		
	2-2-2 教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧		
	・明文化された規定類		
	2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		再掲
	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲
	2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ		再掲
	2-2-2-01 教職課程における自己点検・評価の実施方針について		
	2-2-2-02 琉球大学における教育の質保証のための関係者からの意見聴取に関するガイドライン		
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程		再掲
	2-2-1-01 大学機関別認証評価に係る自己評価書等の作成について(依頼)(非公表)		再掲
	2-2-1-02 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20221110(非公表)		再掲
	2-2-1-03 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20230317(非公表)		再掲
	2-2-1-04 自己点検・評価の実施について(依頼)20221205(非公表)		再掲
2-2-1-05 教職課程における自己点検・評価の実施に係る各学部での取組状況について(依頼)(非公表)		再掲	

<p>[分析項目2-2-3] 施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価の方法が明確に定められていること</p>	<p>・自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧（別紙様式2-2-3）</p>		
	<p>2-2-3 自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧</p>		
	<p>・明文化された規定類</p>		
	<p>2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則</p>		再掲
	<p>2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項</p>		再掲
	<p>2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-2-1-01 大学機関別認証評価に係る自己評価書等の作成について(依頼)(非公表)</p>		再掲
	<p>2-2-1-02 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20221110(非公表)</p>		再掲
	<p>2-2-1-03 自己点検・評価の検証結果における「懸念事項」への対応について(依頼)20230317(非公表)</p>		再掲
<p>[分析項目2-2-4] 機関別内部質保証体制において、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取する仕組みを設けていること</p>	<p>・意見聴取の実施時期、内容等一覧（別紙様式2-2-4）</p>		
	<p>2-2-4 意見聴取の実施時期、内容等一覧</p>		
	<p>・明文化された規定類</p>		
	<p>2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項</p>		再掲
	<p>2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-2-2-02 琉球大学における教育の質保証のための関係者からの意見聴取に関するガイドライン</p>		再掲
	<p>2-2-4-01 琉球大学学生による授業評価実施要項</p>		
	<p>2-2-4-02 琉球大学における教育改善のための学生調査実施要項</p>		
	<p>2-2-4-03 国立大学法人琉球大学学生と学長との懇談会実施要項</p>		
	<p>2-2-4-04 学科別・年次別懇談会実施要項</p>		
	<p>2-2-4-05 卒業(修了)生及び就職先等へのアンケート調査の実施について</p>		
	<p>2-2-4-06 琉球大学学生生活委員会に置く専門委員会に関する要項</p>		
<p>2-2-4-07 令和3年度「学生生活実態調査」実施要項</p>			
<p>2-2-4-08 琉球大学における新入生アンケート実施要項</p>			
<p>2-2-4-09 琉球大学における入学前教育アンケート実施要項</p>			
<p>2-2-4-10 琉球大学におけるオープンキャンパスアンケート実施要項</p>			
<p>2-2-4-11 琉球大学における高大接続事業アンケート実施要項</p>			

<p>[分析項目2-2-5] 機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること</p>	<p>・検討、立案、提案の責任主体一覧（別紙様式2-2-5）</p>		
	<p>2-2-5 検討、立案、提案の責任主体一覧</p>		
	<p>・明文化された規定類</p>		
	<p>2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則</p>		再掲
	<p>2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項</p>		再掲
	<p>2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程</p>		再掲
	<p>2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程</p>		再掲
<p>[分析項目2-2-6] 機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順が定められていること</p>	<p>・実施の責任主体一覧（別紙様式2-2-6）</p>		
	<p>2-2-6 実施の責任主体一覧</p>		
	<p>・明文化された規定類</p>		
	<p>2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則</p>		再掲
	<p>2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項</p>		再掲
	<p>2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ</p>		再掲
	<p>2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程</p>		再掲
	<p>2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程</p>		再掲

<p>【分析項目2-2-7】 機関別内部質保証体制において、その決定した計画の進捗を確認するとともに、その進捗状況に応じた必要な対処方法について決定する手順が定められていること</p>	<p>・明文化された規定類 2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則 2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項 2-1-2-02 琉球大学における教育活動の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ 2-1-3-01 琉球大学における施設・設備の自己点検・評価及び改善活動に関する申合せ 2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程 2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程</p>		<p>再掲 再掲 再掲 再掲 再掲 再掲</p>
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>【分析項目2-2-4】 「2-2-2-02 琉球大学における教育の質保証のための関係者からの意見聴取に関するガイドライン」の別表において、卒業生アンケート及び雇用先関係者等アンケートの実施組織は、「グローバル教育支援機構、各学部及び研究科」と規定しているが、ガイドラインの制定が令和4年度のため、直近の卒業生アンケート及び雇用先関係者等アンケートの実施については、根拠資料「2-2-4-05 卒業(修了)生及び就職先等へのアンケート調査の実施について」のとおり、令和元年度に大学評価IRマネジメントセンターが主体となって実施した。今後は、ガイドラインに基づき、「グローバル教育支援機構、各学部及び研究科」が実施する。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準2-3 【重点評価項目】 内部質保証が有効に機能していること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目2-3-1】 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること	・計画等の進捗状況一覧（別紙様式2-3-1）		
	2-3-1 計画等の進捗状況一覧		
	2-3-1-01 令和4年度開講科目におけるシラバス・チェック及びレビューの実施について(依頼)6(非公表)	別紙様式P.3~6 (基準6-4関連)	
	2-3-1-02 大学院シラバスレビュー結果報告 R4第3回大学院プログラム委員会6(非公表)	別紙様式P.3~6 (基準6-4関連)	
	2-3-1-03 医学研究科入試説明会9	別紙様式P.7~8 (基準5-3関連)	
	2-3-1-04 工学部 標準修業年限卒業率 対応関係資料10(非公表)	別紙様式P.8~11 (基準6-8関連)	
	2-3-1-05 法務研究科 標準修業年限×1.5年内修了率改善計画10(非公表)	別紙様式P.8~11 (基準6-8関連)	
	2-3-1-06 琉球大学大学院法務研究科における長期履修制度の実施要項第3条第3号に定める出願資格に関する申合せ10	別紙様式P.8~11 (基準6-8関連)	
	2-3-1-07 教育学部3年次キャリア研修スケジュール11	別紙様式P.11~13,13~14 (基準6-8関連)	
	2-3-1-08 教育実践力向上CBTアナウンス資料11	別紙様式P.11~13,13~14 (基準6-8関連)	
	2-3-1-09 教育におけるICT活用シラバス11	別紙様式P.11~13,13~14 (基準6-8関連)	
	2-3-1-10 【学部】学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)13	別紙様式P.14~15 (基準6-1関連)	
	2-3-1-11 【大学院】学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)13	別紙様式P.14~15 (基準6-1関連)	
	2-3-1-12 【学部】教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)14	別紙様式P.16~17 (基準6-2関連)	
	2-3-1-13 【大学院】教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)14	別紙様式P.16~17 (基準6-2関連)	
	2-3-1-14 琉球大学における大学院教育(修士課程・博士課程・博士前期課程・博士後期課程・専門職学位課程)で用いる科目番号に関するガイドライン15	別紙様式P.17~19 (基準6-3関連)	
	2-3-1-15 法務研究科カリキュラムマップ15	別紙様式P.17~19 (基準6-3関連)	
	2-3-1-16 琉球大学大学院研究指導計画書の作成に関する申合せ16	別紙様式P.19 (基準6-3関連)	
2-3-1-17 認証評価機関からの指摘事項を踏まえたシラバス作成の留意点について(通知)17(非公表)	別紙様式P.19~20 (基準6-4関連)		
2-3-1-18 法務研究科シラバスの作成に関する申合せ17	別紙様式P.19~20 (基準6-4関連)		

	2-3-1-19 琉球大学各学部共通細則18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-20 琉球大学大学院学則18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-21 琉球大学大学院法務研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-22 琉球大学大学院教育学研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-23 琉球大学大学院理工学研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-24 琉球大学大学院医学研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-25 琉球大学大学院保健学研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-26 琉球大学大学院農学研究科規程18	別紙様式P. 20～21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-27 成績評価の分布状況に関する点検について(依頼)19(非公表)	別紙様式P. 21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-28 法務研究科成績評価分布 点検報告シート19(非公表)	別紙様式P. 21 (基準6-6関連)	
	2-3-1-29 【大学院】入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)20	別紙様式P. 21 (基準5-1関連)	
	2-3-1-30 教育プログラム委員会規約(非公表)	別紙様式P. 37 (基準6-3関連, 工学部)	
	2-3-1-31 外部教育懇談会規約(非公表)	別紙様式P. 37 (基準6-3関連, 工学部)	
	2-3-1-32 教育プログラム改善システム(非公表)	別紙様式P. 37 (基準6-3関連, 工学部)	
[分析項目2-3-2] 機関別内部質保証体制の中で、点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その取組が効果的に機能していること（より望ましい取組として分析）	・該当する報告書等		
[分析項目2-3-3] 機関別内部質保証体制の中で、学生・卒業生を含む関係者からの意見を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その意見を反映した取組を行っていること（より望ましい取組として分析）	・該当する報告書等 ・領域4、5、6の各基準に関して学生等が主体的に作成し、機関別内部質保証体制として確認した報告書等を添付文書とすることができる。		

<p>【分析項目2-3-4】 質保証を行うに相応しい第三者による検証、助言を受け、内部質保証に対する社会的信頼が一層向上している状況にあること（より望ましい取組として分析）</p>	<p>・該当する第三者による検証等の報告書 2-3-4-01 JABEE認定審査結果報告書(非公表) 2-3-4-02 H30教職大学院認証評価評価結果 2-3-4-03 H30法科大学院認証評価評価報告書 2-3-4-04 医学教育分野別評価評価報告書</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準2-4 教育研究上の基本組織の新設や変更等重要な見直しを行うにあたり、大学としての適切性等に関する検証が行われる仕組みを有していること				
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲	
【分析項目2-4-1】 学部又は研究科その他教育研究上の組織の新設・改廃等の重要な見直しを行うにあたり、機関別内部質保証体制で当該見直しに関する検証を行う仕組みを有していること	・明文化された規定類			
	2-4-1-01 国立大学法人琉球大学役員会規程			
	1-3-3-01 国立大学法人琉球大学教育研究評議会規程		再掲	
	2-4-1-02 国立大学法人琉球大学経営協議会規程			
	2-1-1-01 国立大学法人琉球大学自己点検・評価規則		再掲	
	・新設や改廃に関する機関別内部質保証体制で審議された際の議事録と当該関係資料			
	2-4-1-03 平成28年度第2回役員会報・資料(H29工学部)(非公表)			
	2-4-1-04 平成27年度第11回教育研究評議会報・資料(H29工学部)(非公表)			
	2-4-1-05 平成27年度第4回経営協議会報・資料(H29工学部)(非公表)			
	2-4-1-06 平成29年度第2回役員会報・資料(H30人文社会学部・国際地域創造学部)(非公表)			
	2-4-1-07 平成29年度第1回教育研究評議会報・資料(H30人文社会学部・国際地域創造学部)(非公表)			
	2-4-1-08 平成28年度第4回経営協議会報・資料(H30人文社会学部・国際地域創造学部)(非公表)			
	2-4-1-09 平成30年度第3回役員会報・資料(H31教育学研究科)(非公表)			
	2-4-1-10 平成30年度第1回教育研究評議会報・資料(H31教育学研究科)(非公表)			
	2-4-1-11 平成29年度第4回経営協議会報・資料(H31教育学研究科)(非公表)			
	2-4-1-12 令和2年度第2回役員会報・資料(R3理工学研究科)(非公表)			
	2-4-1-13 令和元年度第12回教育研究評議会報・資料(R3理工学研究科)(非公表)			
2-4-1-14 令和元年度第4回経営協議会報・資料(R3理工学研究科)(非公表)				
2-4-1-15 令和3年度第1回役員会報・資料(R4地域共創研究科)(非公表)				
2-4-1-16 令和2年度第11回教育研究評議会報・資料(R4地域共創研究科)(非公表)				
2-4-1-17 令和2年度第4回経営協議会報・資料(R4地域共創研究科)(非公表)				
【特記事項】				
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。				
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。				
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす				
【優れた成果が確認できる取組】				
【改善を要する事項】				

基準2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目2-5-1] 教員の採用及び昇格等にあたって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって採用、昇格させていること	・教員の採用・昇任の状況（過去5年分）（別紙様式2-5-1）		
	2-5-1 教員の採用・昇任の状況(過去5年分)		
	・明文化された規定類		
	2-5-1-01 国立大学法人琉球大学教員就業規程(千原事業場)(非公表)		
	2-5-1-02 国立大学法人琉球大学教員就業規程(上原事業場)(非公表)		
	2-5-1-03 国立大学法人琉球大学教員選考基準(千原事業場)(非公表)		
	2-5-1-04 国立大学法人琉球大学教員選考基準(上原事業場)(非公表)		
	2-5-1-05 国立大学法人琉球大学教員選考通則(非公表)		
	2-5-1-06 教員選考時における教育上及び研究上の指導能力等の評価に関する基本方針及び実施指針(非公表)		
	2-5-1-07 琉球大学人文社会学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-08 琉球大学国際地域創造学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-09 琉球大学教育学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-10 琉球大学理学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-11 琉球大学大学院医学研究科・医学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-12 琉球大学医学部保健学科における教員の選考基準に関する申合せ(非公表)		
	2-5-1-13 琉球大学工学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-14 琉球大学工学部教員選考に際しての教育研究業績審査等に関する申合せ(非公表)		
	2-5-1-15 琉球大学農学部教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-16 琉球大学農学部実務家教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-17 琉球大学大学院医学研究科教員選考要領(非公表)		
	2-5-1-18 琉球大学大学院医学研究科における教員の選考基準に関する申合せ(非公表)		
	2-5-1-19 琉球大学大学院法務研究科教員選考内規(非公表)		
	2-5-1-20 教育学研究科専門職学位課程教員選考内規(非公表)		
	・学士課程における教育上の指導能力に関する評価の実施状況が確認できる資料		
	2-5-1-21 人文社会学部教員選考調書(非公表)		
	2-5-1-22 国際地域創造学部教員選考調書(非公表)		
	2-5-1-23 教育学部教員選考調書(非公表)		
2-5-1-24 理学部教員選考調書(非公表)			
2-5-1-25 医学部教員選考調書(非公表)			
2-5-1-26 工学部教員選考調書(非公表)			
2-5-1-27 農学部教員選考調書(非公表)			
2-5-1-31 教員選考調書別紙(非公表)			

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院課程における教育研究上の指導能力（専門職学位課程にあつては教育上の指導能力）に関する評価の実施状況が確認できる資料 		
	2-5-1-28 医学研究科教員選考調書(非公表)		
	2-5-1-29 法務研究科教員選考調書(非公表)		
	2-5-1-30 教育学研究科教員選考調書(非公表)		
	2-5-1-31 教員選考調書別紙(非公表)		再掲
[分析項目2-5-2] 教員の教育活動、研究活動及びその他の活動に関する評価を継続的に実施していること	<ul style="list-style-type: none"> ・教員業績評価の実施状況（別紙様式2-5-2） 		
	2-5-2 教員業績評価の実施状況		
	・明文化された規定類		
	2-5-2-01 国立大学法人琉球大学における人事給与マネジメント改革に関する基本方針(非公表)		
	2-5-2-02 国立大学法人琉球大学における業績評価に関する規則(非公表)		
	・教員の業績評価の内容、実施方法、実施状況が確認できる資料（実施要項、業績評価結果の報告書等）		
	2-5-2-03 令和2年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		
	2-5-2-04 令和3年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		
	2-5-2-05 令和4年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		
[分析項目2-5-3] 評価の結果、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果に基づく取組（別紙様式2-5-3） 		
	2-5-3 評価結果に基づく取組		
	・反映される規定がある場合は明文化された規定類		
	2-5-2-01 国立大学法人琉球大学における人事給与マネジメント改革に関する基本方針(非公表)		再掲
	2-5-3-01 国立大学法人琉球大学職員給与規程(千原事業場)(非公表)		
	2-5-3-02 国立大学法人琉球大学職員給与規程(上原事業場)(非公表)		
	2-5-3-03 国立大学法人琉球大学職員給与規程(西表事業場)(非公表)		
	2-5-3-04 国立大学法人琉球大学年俸制(Ⅱ)適用教員給与規程(非公表)		
	2-5-3-05 国立大学法人琉球大学年俸制(Ⅰ)適用教員給与規程(非公表)		
	・教員の業績評価の内容、実施方法、実施状況が確認できる資料（業績評価に関連する規定、実施要項、業績評価結果の報告書等）		
	2-5-2-02 国立大学法人琉球大学における業績評価に関する規則(非公表)		再掲
	2-5-2-03 令和2年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		再掲
	2-5-2-04 令和3年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		再掲
	2-5-2-05 令和4年度国立大学法人琉球大学における業績評価に関する実施要項(非公表)		再掲

<p>[分析項目2-5-4] 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に実施していること</p>	<p>・FDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式2-5-4） 2-5-4 FDの内容・方法及び実施状況一覧</p>		
<p>[分析項目2-5-5] 教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助者（指導補助者）が配置され、それらの者が適切に活用されていること</p>	<p>・教育支援者、教育補助者（指導補助者）一覧（別紙様式2-5-5） 2-5-5 教育支援者、教育補助者（指導補助者）一覧 ・教務関係等事務組織図及び事務職員の事務分掌、配置状況が確認できる資料 2-5-5-01 組織図 2-5-5-02 国立大学法人琉球大学事務組織規程 2-5-5-03 国立大学法人琉球大学事務分掌細則 2-5-5-04 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構アドミッション部門(アドミッションセンター)規程 ・教育活動に関わる技術職員、図書館専門職員等の配置状況が確認できる資料 2-5-5-01 組織図 2-5-5-02 国立大学法人琉球大学事務組織規程 2-5-5-03 国立大学法人琉球大学事務分掌細則 2-5-5-05 国立大学法人琉球大学一般職員人事規程(千原事業場)(非公表) ・演習、実験、実習又は実技を伴う授業を補助する助手等の関係規定、配置やTA等の配置状況、活用状況が確認できる資料 2-5-5-06 国立大学法人琉球大学ティーチング・アシスタント実施要項</p>		再掲
<p>[分析項目2-5-6] 教育活動を展開するために必要な教育支援者や教育補助者（指導補助者）が担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の維持、向上を図る取組を組織的に実施していること</p>	<p>・教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式2-5-6） 2-5-6 教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧 ・教育補助者（指導補助者）に対してのマニュアルや研修等内容、実施状況が確認できる資料 2-5-5-06 国立大学法人琉球大学ティーチング・アシスタント実施要項 2-5-6-01 ティーチングアシスタント研修のご案内(非公表) 2-5-6-02 TA研修会資料</p>		再掲

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
<p>【分析項目2-5-1】</p> <p>医学部及び医学研究科関連の内規が3つあるが、全ての内規を使用しており、それぞれの関連性については以下のとおりとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学大学院医学研究科・医学部教員選考内規 ・医学部及び大学院医学研究科における、教員の選考方法及び、教員選考調書作成委員会の設置並びに候補者の選考を行う会議体を規定している。 ・琉球大学大学院医学研究科教員選考要領 ・大学院医学研究科所属教員の選考方法に関し、『琉球大学大学院医学研究科・医学部教員選考内規』を補完する内容を規定している。 ・医学研究科における教員の選考基準に関する申合せ ・大学院医学研究科教員の選考に関し、職階ごとの選考基準を規定している。 			
<p>【分析項目2-5-1】</p> <p>教育、研究、社会貢献、国際連携に関する実績や業績について根拠資料「2-5-1-31 教員選考調書別紙(非公表)」のように応募書類として作成してもらい、それぞれの内容を応募資格や選考内規等に照らし合わせて確認している。また、書類選考通過者には面接や質疑応答等を通じて内容の確認を行った上で評価を行っている。</p>			
<p>【分析項目2-5-6】</p> <p>教育補助者（ティーチングアシスタント）への必要な研修は、グローバル教育支援機構によるオンデマンド研修を実施している。令和5年4月16日付ですべての教育補助者に研修を受講するよう案内を行っており、今後、その受講状況を確認しつつ、確実に受講するよう組織的な対応を行う。</p>			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料とともに箇条書き</u> で記述すること。			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。</p> <p>■ 当該基準を満たす</p>			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

II 基準ごとの自己評価

領域3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準

：「該当なし」

基準3-1 財務運営が大学等の目的に照らして適切であること

分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目3-1-1] 毎年度、財務諸表等について法令等に基づき必要な手続きを経ていること	・直近年度の財務諸表		
	3-1-1-01_令和4年度財務諸表		
	・上記財務諸表に係る監事、会計監査人の監査報告書		
	3-1-1-02_令和4年度監査報告書		
[分析項目3-1-2] 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること	3-1-1-03_令和4年度独立監査人の監査報告書		
	・予算・決算の状況（過去5年間分）が分かる資料（別紙様式3-1-2）		
	3-1-2_予算・決算の状況(過去5年間分)が分かる資料		
	・分析の手順に示された理由がある場合に、その理由を記載した書類		
	3-1-2-01_分析の手順に示された理由がある場合に、その理由を記載した書類		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準3-2 管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目3-2-1] 大学の管理運営のための組織が、適切な規模と機能を有していること	・管理運営のための組織（法人の役員会、経営協議会、教育研究評議会等が、法人としての業務以外で大学の教育研究活動に係る運営において役割を有する場合は、それらを含む。）の設置、構成等が確認できる資料（根拠となる規定を含む。）		
	2-5-5-01_組織図		再掲
	1-3-1-01_国立大学法人琉球大学組織規則		再掲
	2-4-1-01_国立大学法人琉球大学役員会規程		再掲
	2-4-1-02_国立大学法人琉球大学経営協議会規程		再掲
	1-3-3-01_国立大学法人琉球大学教育研究評議会規程		再掲
	・大学の学長と大学を設置する法人の長が異なる場合は、責任の内容と所在が確認できる資料		
[分析項目3-2-2] 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること	・役職者の名簿		
	1-3-1-05_役員、学部長等		再掲
[分析項目3-2-3] 研究の実施に関して高等教育機関として相応しい規程、方針等が整備され、優れた成果を上げていること（より望ましい取組として分析）	・法令遵守事項一覧（別紙様式3-2-2） ・危機管理体制等一覧（別紙様式3-2-2）		
	3-2-2_法令遵守事項、危機管理体制等一覧		
	・研究の実施に関する方針等一覧（別紙様式3-2-3） ・研究の支援・推進制度等一覧（別紙様式3-2-3）		
	・研究の実施に関する方針等の内容を示す資料		
	・研究の支援・推進制度等によって優れた成果が得られていることを示す資料		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準3-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目3-3-1】 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること	・管理運営に係る組織一覧（部署ごとの人数（分析項目2-5-5教育支援者を含む。）） （別紙様式3-3-1）		
	3-3-1 事務組織一覧		
	・根拠となる規定類 2-5-5-02 国立大学法人琉球大学事務組織規程		再掲
	・管理運営に係る組織の組織図 2-5-5-01 組織図		再掲
【分析項目3-3-2】 教育の国際化を推進する組織を有する場合は、当該組織が優れた機能を有し、成果を上げていること（より望ましい取組として分析）	・教育の国際化を推進する組織一覧（別紙様式3-3-2）		
	・根拠となる規定類		
	・優れた成果が分かる資料		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、 <u>根拠資料</u> とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準3-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること				
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲	
[分析項目3-4-1] 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること	・教職協働の状況（別紙様式3-4-1）			
	3-4-1 教職協働の状況			
	・根拠となる規定類			
	3-4-1-01 国立大学法人琉球大学企画経営戦略会議規則			
	3-4-1-02 国立大学法人琉球大学安全衛生委員会規程(千原事業場)			
	3-4-1-03 国立大学法人琉球大学情報公開・個人情報保護委員会規程			
	3-4-1-04 国立大学法人琉球大学発明審査委員会規程			
	3-4-1-05 国立大学法人琉球大学営利企業兼業審査委員会規程			
	2-1-1-03 国立大学法人琉球大学自己点検・評価会議規程			再掲
	3-4-1-06 国立大学法人琉球大学大学評価IRマネジメントセンター規則			
	2-1-1-07 国立大学法人琉球大学社会連携に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	2-1-1-05 国立大学法人琉球大学研究に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	2-1-1-08 国立大学法人琉球大学管理運営に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	2-1-1-09 国立大学法人琉球大学財務・施設管理に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	2-1-1-04 琉球大学教育・学生支援に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	2-1-1-06 国立大学法人琉球大学国際交流に関する自己点検・評価委員会規程			再掲
	3-4-1-07 国立大学法人琉球大学地域連携推進会議規程			
	3-4-1-08 国立大学法人琉球大学地域連携推進協議会規程			
	3-4-1-09 国立大学法人琉球大学共創拠点運営会議規程			
	3-4-1-10 琉球大学研究推進会議規程			
	3-4-1-11 琉球大学研究基盤統括センター運営委員会規程			
3-4-1-12 国立大学法人琉球大学利益相反マネジメント規程				
3-4-1-13 国立大学法人琉球大学広報委員会規程				
3-4-1-14 国立大学法人琉球大学環境・施設マネジメント委員会規程				
3-4-1-15 国立大学法人琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会設置要項				
3-4-1-16 琉球大学放射線安全委員会規程				
3-4-1-17 琉球大学教務事務電算化委員会設置要項				
3-4-1-18 国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス移転推進委員会規程				
3-4-1-19 国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会要項				
3-4-1-20 琉球大学学生生活委員会規程				
3-4-1-21 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構規則				
2-5-5-04 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構アドミッション部門(アドミッションセンター)規程			再掲	

	3-4-1-22 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構障がい学生支援室規程		
	3-4-1-23 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構グローバル津梁専門委員会に置くグローバル人材育成加速化事業に関する運営委員会要項		
	3-4-1-24 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構国際教育専門委員会規程		
	3-4-1-25 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構グローバル津梁専門委員会に置く世界展開力強化事業に関する運営委員会要項		
	3-4-1-26 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構太平洋島嶼地域からの留学生受入事業に関する運営委員会要項		
【分析項目3-4-2】 管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ディベロップメント（SD）を実施していること	・SDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式3-4-2） 3-4-2 SDの内容・方法及び実施状況一覧		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準3-5 財務及び管理運営に関する内部統制及び監査の体制が機能していること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目3-5-1] 監事が適切な役割を果たしていること	・ 監事に関する規定		
	3-5-1-01 国立大学法人琉球大学の監事に関する規程		
	3-5-1-02 国立大学法人琉球大学監事監査規則		
	3-5-1-03 国立大学法人琉球大学監事監査実施細則		
	・ 監事による監査の実施状況を確認できる資料（直近年度の監事監査計画書、監事監査報告書、監事による意見書等）		
	3-5-1-04 令和4年度監事監査計画書(非公表)		
	3-5-1-05 令和3年度監査報告書(財務諸表)		
	3-5-1-06 令和3年度監事監査報告書(定期監査)(非公表)		
	3-5-1-07 令和4年度監事監査報告書(公的研究費)(非公表)		
	3-5-1-08 令和4年度監事監査報告書(予算編成・執行管理等)(非公表)		
・ 監事が置かれていない場合は、直近年度の地方自治体における監査委員等の監査結果			
[分析項目3-5-2] 法令の定めに従って、会計監査人による監査が実施されていること	・ 会計監査人の監査の内容・方法が確認できる資料（直近年度の監査計画書等）		
	3-5-2-01 令和3年度監査結果概要書(有限責任監査法人トーマツ)(非公表)		
	3-5-2-02 令和4年度監査計画概要書(有限責任監査法人トーマツ)(非公表)		
	・ 財務諸表等の監査の実施状況を確認できる資料（直近年度の会計監査人による監査報告書等）		
	3-5-2-03 独立監査人の監査報告書(非公表)		
[分析項目3-5-3] 独立性が担保された主体により内部監査を実施していること	・ 組織図又は関係規定（独立性が担保された主体であることが確認できるもの）		
	2-5-5-02 国立大学法人琉球大学事務組織規程		再掲
	2-5-5-01 組織図		再掲
	・ 内部監査に関する規定		
	3-5-3-01 国立大学法人琉球大学内部監査規則		
	・ 監査の実施状況等が確認できる資料（直近年度の内部監査報告書等）		
	3-5-3-02 令和5年度内部監査計画書(非公表)		
	3-5-3-03 令和4年度内部監査報告書(共済)(非公表)		
	3-5-3-04 令和4年度内部監査報告書(科研費等)(非公表)		
	3-5-3-05 令和4年度内部監査報告書(病院収入・債権管理)(非公表)		
3-5-3-06 令和4年度内部監査報告書(職員研修(SD研修))(非公表)			
3-5-3-07 令和4年度内部監査報告書(法人文書等)(非公表)			

<p>[分析項目3-5-4] 監事を含む各種の監査主体と大学の管理運営主体との間で、情報共有を行っていること</p>	<p>・監査の連携状況が具体的に確認できる資料（直近年度の協議、意見交換の議事録等） 3-5-4-01 令和4事業年度第1回四者協議会議事要旨(非公表) 3-5-4-02 令和4事業年度第2回四者協議会議事要旨(非公表) 3-5-4-03 令和4事業年度第3回四者協議会議事要旨(非公表) 3-5-4-04 令和3事業年度第4回四者協議会議事要旨(非公表) 3-5-4-05 令和4年度会計監査人による学長及び理事とのディスカッション議事要旨(非公表)</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			
<p>基準3-6 大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること</p>			
<p>分析項目</p>	<p>分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>[分析項目3-6-1] 法令等が公表を求める事項を公表していること</p>	<p>・法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧（別紙様式3-6-1） 3-6-1 法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

II 基準ごとの自己評価

領域4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準

：「該当なし」

基準4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目4-1-1] 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること	・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（改正前基準）		
	認証評価共通基礎データ様式様式1（改正前基準）		再掲
	※基幹教員制度を導入している場合 ・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（改正後基準）		
	・ 夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧（別紙様式4-1-1） 4-1-1 夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧		
[分析項目4-1-2] 法令が定める実習施設等が設置されていること	・ 附属施設等一覧（別紙様式4-1-2） 4-1-2 附属施設等一覧		
[分析項目4-1-3] 施設・設備における安全性について、配慮していること	・ 施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮の状況（別紙様式4-1-3） 4-1-3 施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮状況		
[分析項目4-1-4] 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	・ 学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）等 4-1-4-01 令和4年度学術情報基盤実態調査(コンピュータ及びネットワーク編)(非公表)		
[分析項目4-1-5] 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること	・ 学術情報基盤実態調査（大学図書館編） 4-1-5-01 令和4年度学術情報基盤実態調査(大学図書館編)		
[分析項目4-1-6] 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること	・ 自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式4-1-6） 4-1-6 自主的学習環境整備状況一覧		
[分析項目4-1-7] 研究成果を継続的に生み出すための研究環境が十分に整備され、効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析）	・ 研究環境整備状況一覧（別紙様式4-1-7）		
[分析項目4-1-8] 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動（例えば、公開講座・履修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動）に効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析）	・ 社会からの期待に対応して行う活動一覧（別紙様式4-1-8）		

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準4-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること				
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲	
[分析項目4-2-1] 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること	・相談・助言体制等一覧（別紙様式4-2-1）			
	4-2-1_相談・助言体制等一覧			
	・保健（管理）センター、学生相談室、就職支援等を設置している場合は、その概要や相談・助言体制（相談員、カウンセラーの配置等）が確認できる資料			
	4-2-1-01_国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構保健管理部門(保健管理センター)規程			
	4-2-1-02_国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構障がい学生支援室規程			
	4-2-1-03_琉球大学学生相談室規則			
	4-2-1-04_琉球大学グローバル教育支援機構キャリア教育支援部門(キャリア教育センター)規程			
	・各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料（取扱要項等）			
	4-2-1-05_ハラスメント防止対策に関する指針			
	4-2-1-06_ハラスメント防止対策に関する規則			
	4-2-1-07_ハラスメント相談支援センターリーフレット(日本語版)			
	4-2-1-08_ハラスメント相談支援センターリーフレット(英語語版)			
	4-2-1-09_ハラスメント相談支援センター啓発カード			
	4-2-1-10_ハラスメント相談支援センターHP			
	4-2-1-11_ハラスメント相談支援センター支援メニュー2022年度			
	4-2-1-12_教育学部倫理公平委員会規程			
	・生活支援制度の学生への周知方法（刊行物、プリント、掲示等）が確認できる資料			
	4-2-1-13_保健管理センターHP			
	4-2-1-14_障がい学生支援室HP			
4-2-1-15_学生生活の手引き(抜粋)				
4-2-1-16_ほけかんだより				
4-2-1-17_障がい学生支援室ガイド				
4-2-1-18_キャリア教育センター利用案内				

	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援制度の利用実績が確認できる資料 		
	4-2-1-19 保健管理センター等利用実績(非公表)		
	4-2-1-20 学生相談室利用状況(非公表)		
	4-2-1-21 令和4年度就職相談利用状況(非公表)		
	4-2-1-22 令和4年度ガイダンス実績(非公表)		
[分析項目4-2-2] 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> 課外活動に係る支援状況一覧（別紙様式4-2-2） 		
	4-2-2 課外活動に係る支援状況一覧		
[分析項目4-2-3] 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> 留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式4-2-3） 		
	4-2-3 留学生への生活支援の内容及び実施体制		
	<ul style="list-style-type: none"> 留学生に対する外国語による情報提供（健康相談、生活相談等）を行っている場合は、その資料 		
	4-2-3-01 外国人留学生ガイドブック2023		
	4-2-3-02 外国人留学生生活オリエンテーション資料(非公表)		
	4-2-3-03 留学生のための就職相談		
	4-2-3-04 留学生学内宿舎		
	4-2-3-05 国際交流会館入居者案内【日英併記】(非公表)		
	4-2-3-06 外国人研究生・大学院生のための日本語クラス		
	4-2-3-07 留学生・外国人研究者、およびその家族のための中級日本語クラス(教育実習)		
	4-2-3-08 留学生のための災害対応マニュアル 英語版		
[分析項目4-2-4] 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制（別紙様式4-2-4） 		
	4-2-4 障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制		
	<ul style="list-style-type: none"> 障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領等の規定類 		
	4-2-4-01 国立大学法人琉球大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領		
	4-2-4-02 (別添)国立大学法人琉球大学における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領に係る留意事項		

<p>[分析項目4-2-5] 学生に対する経済面での援助を行っていること</p>	<p>・経済的支援の整備状況、利用実績一覧（別紙様式4-2-5）</p>		
	<p>4-2-5 経済的支援の整備状況、利用実績一覧</p>		
	<p>・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知が確認できる資料</p>		
	<p>4-2-5-01 大学公式HP・学生生活支援情報HP(ウェブサイト)</p>		
	<p>4-2-5-02 教務情報システム(ウェブサイト)</p>		
	<p>4-2-5-03 大学案内2023(抄)、大学概要2022(抄)</p>		
	<p>・日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料</p>		
	<p>4-2-5-04 令和4年度日本学生支援機構等奨学金利用状況(非公表)</p>		
	<p>・大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料</p>		
	<p>4-2-5 経済的支援の整備状況、利用実績一覧</p>		再掲
	<p>4-2-5-05 令和4年度奨学財団等奨学金募集・採用実績一覧(非公表)</p>		
	<p>4-2-5-06 令和4年度各学部等における独自の支援制度一覧(非公表)</p>		
	<p>4-2-5-07 琉球大学基金規程</p>		
	<p>4-2-5-08 琉球大学修学支援基金規程</p>		
	<p>4-2-5-09 琉球大学岸本遺贈基金規程</p>		
	<p>4-2-5-10 琉球大学QUEST基金規程</p>		
	<p>4-2-5-11 経済的理由による学資金支援事業に関する基本方針</p>		
	<p>4-2-5-12 令和4年度修学支援基金募集要項(前期・後期)</p>		
	<p>4-2-5-13 【岸本】令和4年度女子大学院生グローバル人材育成事業募集要項等</p>		
	<p>4-2-5-14 【岸本】人材育成支援事業海外留学支援制度(協定派遣)実施要項等</p>		
	<p>4-2-5-15 【QUEST】令和4年度短期交換留学(協定派遣)募集要項</p>		
	<p>4-2-5-16 【QUEST】令和4年度英語能力試験受験料助成 募集要項</p>		
	<p>4-2-5-17 【QUEST】令和4年度短期派遣研修プログラム助成 募集要項</p>		
	<p>4-2-5-18 【QUEST】令和4年度大学院学生の海外留学奨学金 募集要項</p>		
	<p>4-2-5-19 【QUEST】2022年度私費外国人留学生奨学金募集要項</p>		
	<p>4-2-5-20 【QUEST】2022年度事業計画(不測の事態、見舞金)</p>		
	<p>4-2-5-21 【QUEST】2022年度国際交流支援事業短期交換留学(協定受入)奨学金</p>		
	<p>・入学科、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料</p>		
	<p>4-2-5-22 琉球大学における修学の支援に関する規則</p>		
	<p>4-2-5-23 琉球大学における修学の支援に関する実施要項</p>		
	<p>4-2-5-24 琉球大学における修学の支援に関する学業成績基準(非公表)</p>		
	<p>4-2-5-25 琉球大学入学科免除及び徴収猶予取扱規程</p>		
	<p>4-2-5-26 琉球大学入学科免除及び徴収猶予者選考基準</p>		
	<p>4-2-5-27 琉球大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規程</p>		
	<p>4-2-5-28 琉球大学授業料免除者選考基準</p>		
	<p>4-2-5-29 琉球大学独自制度による授業料免除取扱規程</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・学生寄宿舎を設置している場合は、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料 		
	4-2-5-30 令和4年5月千原寮在籍者数(非公表)		
	4-2-5-31 琉球大学千原寮管理運営規程		
	4-2-5-32 国立大学法人琉球大学料金規程		
	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料 		
	4-2-5-33 令和4年度県外就職活動等支援事業募集要項		
	4-2-5-34 令和4年度学部1、2年次向け県外インターンシップ支援募集要項		
	4-2-5-35 琉球大学キャリア教育センターHP 県外就職活動について		
	4-2-5-36 県外就職活動支援事業報告(非公表)		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

II 基準ごとの自己評価

領域5 学生の受入に関する基準

: 「該当なし」

基準5-1 学生受入方針が明確に定められていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目5-1-1】 学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	・学生受入方針が確認できる資料		
	5-1-1-01 琉球大学アドミッション・ポリシー(学部)		
	5-1-1-02 琉球大学アドミッション・ポリシー(大学院)		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準5-2 学生の受入が適切に実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目5-2-1] 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	・入学者選抜の方法一覧（別紙様式5-2-1）		
	5-2-1 入学者選抜の方法一覧		
	5-2-1-01 (学部)R5総合型選抜Ⅰ募集要項(非公表)		
	5-2-1-02 (学部)R5総合型選抜Ⅱ募集要項(非公表)		
	5-2-1-03 (学部)R5学校推薦型選抜Ⅰ(非公表)		
	5-2-1-04 (学部)R5学校推薦型選抜Ⅱ募集要項(非公表)		
	5-2-1-05 (学部)R5社会人特別選抜 募集要項(非公表)		
	5-2-1-06 (学部)R5帰国生徒特別選抜募集要項(非公表)		
	5-2-1-07 (学部)R5私費外国人留学生特別選抜募集要項(非公表)		
	5-2-1-08 (学部)R5一般選抜募集要項(非公表)		
	5-2-1-09 (学部)R5入学者選抜要項(非公表)		
	5-2-1-10 R5人文社会科学研究科(博士後期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-11 R5地域共創研究科(修士)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-12 R5教育学研究科(教職大学院)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-13 R5医学研究科(修士)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-14 R5医学研究科(博士)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-15 R5保健学研究科(博士前期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-16 R5保健学研究科(博士後期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-17 R5理工学研究科(工学系博士前期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-18 R5理工学研究科(理学系博士前期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-19 R5理工学研究科(博士後期)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-20 R5農学研究科(1次修士)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-21 R5農学研究科(2次修士)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-22 R5法務研究科(法科大学院)学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-23 R5人文社会学部・国際地域創造学部3年次編入学学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-24 R5医学部医学科2年次編入学学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-25 R5工学部3年次編入学学生募集要項(非公表)		
	5-2-1-26 R5農学部3年次編入学学生募集要項(非公表)		
	・入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料		
1-3-1-02 琉球大学学則			再掲
1-3-1-03 琉球大学大学院学則			再掲
5-2-1-27 琉球大学大学院委員会規程(非公表)			
5-2-1-28 琉球大学入学試験管理委員会規程(非公表)			
5-2-1-29 琉球大学入学試験管理委員会運営規程(非公表)			

2-1-2-05 琉球大学人文社会学部各種委員会規程		再掲
2-1-2-06 琉球大学国際地域創造学部各種委員会規程		再掲
5-2-1-30 琉球大学教育学部入学試験委員会規程(非公表)		
2-1-2-08 琉球大学理学部各種委員会規程		再掲
5-2-1-31 琉球大学医学部入試委員会規程(非公表)		
5-2-1-32 琉球大学医学部医学科入試委員会要項(非公表)		
5-2-1-33 琉球大学医学部保健学科入試委員会要項(非公表)		
2-1-2-10 琉球大学工学部及び大学院理工学研究科(工学系)各種委員会等規程		再掲
2-1-2-11 琉球大学農学部各種委員会規程		再掲
1-3-2-10 琉球大学大学院人文社会科学研究科委員会規程		再掲
1-3-2-11 琉球大学大学院地域共創研究科委員会規程		再掲
2-1-2-12 琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻会議規程	第8条第1項第8号 第8条第9項	再掲
1-3-2-14 琉球大学大学院理工学研究科委員会規程		再掲
5-2-1-34 琉球大学大学院医学研究科学務委員会要項(非公表)		
5-2-1-35 琉球大学大学院保健学研究科学務委員会要項(非公表)		
2-1-2-13 法務研究科における各種委員会・委員の設置及び所掌事項に関する申し合わせ	(4)入試委員会	再掲
2-5-5-04 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構アドミッション部門(アドミッションセンター)規程		再掲
5-2-1-36 琉球大学入学試験危機管理委員会要項(非公表)		
5-2-1-37 琉球大学入学者選抜試験(一般選抜)における入試ミス等が発覚・発生した場合の対応方法に関する申し合わせ(非公表)		
5-2-1-38 琉球大学入学者選抜試験(特別選抜)における台風接近による試験日の変更に関する申し合わせ(非公表)		
5-2-1-39 琉球大学入学者選抜試験(特別選抜)における入試ミス等が発覚・発生した場合の対応方法に関する申し合わせ(非公表)		
・入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等		
5-2-1-40 R5大学入学共通テスト実施要項(琉球大学版)(非公表)		
5-2-1-41 R5入学者選抜(一般選抜)実施要項(非公表)		
5-2-1-42 R5特別選抜(学校推薦型Ⅰ・Ⅱ、社会人、帰国生徒)実施体制(非公表)		
5-2-1-43 R5総合型選抜Ⅰ教育学部「実施体制」(非公表)		
5-2-1-44 R5総合型選抜Ⅰ工学部「実施体制」(非公表)		
5-2-1-45 R5総合型選抜Ⅱ農学部「実施体制」(非公表)		
5-2-1-46 大学院入試実施要領(全研究科)(非公表)		

	・面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等）		
	5-2-1-47 学部入試面接要領(全学部)(非公表)		
	5-2-1-48 人文社会科学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-49 地域共創研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-50 教育学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-51 医学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-52 保健学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-53 理工学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-54 農学研究科入試面接要領(非公表)		
	5-2-1-55 法務研究科入試面接要領(非公表)		
	・学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの		
	5-2-1-56 入試の変更・予告に関するお知らせ(非公表)		
	5-2-1-57 R7入試変更予告(非公表)		
	5-2-1-58 R6入試変更予告(非公表)		
	5-2-1-59 R5入試変更予告(非公表)		
[分析項目5-2-2] 学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学選抜の改善に役立てていること	・学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料		
	5-2-2-01 琉球大学全学学士教育プログラム委員会規程(非公表)		
	5-2-2-02 琉球大学全学大学院教育プログラム委員会規程(非公表)		
	5-2-1-27 琉球大学大学院委員会規程(非公表)		再掲
	5-2-1-28 琉球大学入学試験管理委員会規程(非公表)		再掲
	2-5-5-04 国立大学法人琉球大学グローバル教育支援機構アドミッション部門(アドミッションセンター)規程		再掲
	5-2-2-03 個別学力検査の問題研究委員会要項(非公表)		
	5-2-2-04 個別学力検査の問題作成・採点等の在り方検討委員会要項(非公表)		
	5-2-2-05 琉球大学・沖縄県高等学校長協会連絡協議会実施要領(非公表)		
	5-2-2-06 高大接続改革推進ワーキンググループ設置要項(非公表)		
	5-2-2-07 令和3年度琉球大学・沖縄県高等学校長協会連絡協議会次第(非公表)		
	5-2-2-08 令和3年度琉球大学・沖縄県高等学校長協会連絡協議会新入試の報告(非公表)		
	5-2-2-09 令和3年度琉球大学・沖縄県高等学校長協会連絡協議会教育学部総合型選抜(非公表)		
	5-2-2-10 令和3年度琉球大学・沖縄県高等学校長協会連絡協議会農学部総合型選抜(非公表)		
	5-2-2-11 令和2年度第2回高大接続改革推進ワーキンググループ会議事要旨(非公表)		
	5-2-2-12 令和3年度第6回グローバル教育支援機構アドミッション部門会議事要旨(非公表)		
	5-2-2-13 入学前教育フィードバック資料(非公表)		
	5-2-2-14 入学前教育の実施状況についての調査結果とその活用について(非公表)		

	・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等		
	5-2-2-15 人文社会学部入学者選抜の改善(非公表)		
	5-2-2-16 農学部入学者選抜の改善(非公表)		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
【分析項目5-2-2】 人文社会学部琉球アジア文化学科（私費外国人留学生特別選抜）（5-2-2-15_人文社会学部入学者選抜の改善(非公表)）：当時の入学者選抜は、アドミッション・ポリシーに従い日本留学試験と面接を課すことで、日本語能力と基礎学力、志望動機と学習意欲を評価することとしていた。しかし、この選抜方法では論理的思考を伴う日本語での記述力をみることができず、入学者の一部は求める学生像と合致しないことが課題となった。その改善方法として、入学者選抜に小論文を課すこととし、琉球アジア言語文化圏の言語や文学、歴史、民俗などに関する問題への理解力や論理的思考力、記述力などを評価できるようにした。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準5-3 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目5-3-1] 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式2 認証評価共通基礎データ様式様式2（改正前基準）		
	・ 実入学者数が「入学定員を大幅に超える」、又は「大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料 5-3-1-01 地域共創研究科改組資料		
	5-3-1-02 医学研究科入試説明会		
	5-3-1-03 令和5年度第1回理工学研究科(博士後期課程)委員会議事要旨(非公表)		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
[分析項目5-3-1] 人文社会科学研究科（博士前期課程）及び観光科学研究科（修士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。このことについては、当該研究科を地域共創研究科（修士課程）に改組し、その際に入学定員数を削減するなどの対応を行った結果、令和4年度及び令和5年度の入学定員充足率はそれぞれ109%、77%となり、改善された。			
[分析項目5-3-1] 医学研究科（修士課程）医科学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。その要因は、医科学専攻を希望する主な学生は、医療系の学生及び医療系の職に就いている社会人であり、沖縄県における医療系の学生の就職率が非常に高いことや、医療系の職業が多忙であるため、本専攻へ進学する学生が減少傾向にあると考えている。その対策として、入試説明会を那覇市で開催するとともに、沖縄県内で二コースのある沖縄工業高等専門学校においても開催している。令和4年度は参加者の利便性向上のため、対面とオンラインを併用したハイブリッドでの説明会を開催し、改善に取り組んだ。今後は入試説明会の様子を動画撮影し、後日ホームページ上に掲載することで、説明会当日に参加できなかった方へも広く周知する等の対応を検討する。			
[分析項目5-3-1] 理工学研究科（博士後期課程）の総合知能工学専攻、海洋環境学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に上回っている。本研究科は「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に積極的に申請し、国際的な人材の育成に努めており、令和元年度から令和5年度に入学を受け入れるプログラムとして5件の採択実績がある。同プログラムでは、優先配置期間である3年間において、毎年度、優先配置枠と同数の私費外国人留学生を獲得することが求められており、本研究科の採択プログラムの優先配置枠数は3となっている。各専攻の入学定員がそれぞれ3名、5名と少数である本研究科では、同プログラムにより優先的に配置される国費外国人留学生と、プログラムにより獲得が求められる私費外国人留学生とを受け入れることで定員超過が発生する状況が続いている。現在、定員超過の適正化を図るため、定員の見直しに向けた検討を進めているところであり、受け入れた学生に対しては、十分な数の指導教員の配置や、利用できる実験室、実習室及び研究機器などの設備を提供している。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たさない			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

領域6 基準の判断 総括表

組織番号	教育研究上の基本組織	基準6-1	基準6-2	基準6-3	基準6-4	基準6-5	基準6-6	基準6-7	基準6-8	備考
01	人文社会学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
02	国際地域創造学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
03	教育学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
04	理学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
05	医学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
06	工学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構） ※工学科社会基盤デザインコースについて、技術者教育プログラム認定（日本技術者教育認定機構）の活用あり								
07	農学部	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
08	人文社会科学研究科	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	
09	地域共創研究科	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	該当なし	令和4年4月新設
10	教育学研究科	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
11	医学研究科	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
12	保健学研究科	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
13	理工学研究科	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしている	満たしていない	工学専攻：令和3年4月新設
14	農学研究科	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								
15	法務研究科	※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）								

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目6-8-1】 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1） ・「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1）		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
【分析項目6-8-2】 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去5年分）（別紙様式6-8-2）主な進学/就職先（起業者も含む）		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
【分析項目6-8-1】 理学部においては、進路上の理由、経済的理由、留学等による休学が要因となり、標準修業年限内の卒業率が相当程度低くなっている。これらへの対応をして、年次指導教員による履修指導や、指導教員や学部事務部から各種支援制度を適切に案内し、標準修業年限内に卒業するように努めている。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目6-8-1】 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1） ・「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1）		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
【分析項目6-8-2】 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去5年分）（別紙様式6-8-2）主な進学/就職先（起業者も含む）		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
【分析項目6-8-1】 工学部においては、成績不振、経済的理由による修学への影響や、心身の不調等による休学が要因となり、標準修業年限内の卒業率が相当程度低くなっている。これらへの対応として、出席管理システムやGPAの変化の分析結果等を活用したきめ細かな履修指導や、経済的支援制度の適切な案内により、標準修業年限内に卒業するように努めている。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
[分析項目6-8-1] 農学部においては、進路上の理由、経済的理由、病気等による休学が要因となり、標準修業年限内の卒業率が相当程度低くなっている。これらへの対応として、履修モデル等を用いた修業年限の学修を明確化させるような履修指導や、指導教員や学部事務部から経済的支援制度や長期履修制度等の各種支援制度を適切に案内し、標準修業年限内に卒業するように努めている。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※全ての教育課程について、第三者評価結果の活用なし

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目6-1-1】 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	・策定された学位授与方針 6-1-1-01_(08)人文社会(博士後期課程)_DP		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-2-1] 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	・策定された教育課程方針 6-2-1-01 (08)人文社会(博士後期課程) CP		
[分析項目6-2-2] 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	・策定された教育課程方針及び学位授与方針 6-1-1-01 (08)人文社会(博士後期課程) DP		再掲
	6-2-1-01 (08)人文社会(博士後期課程) CP		再掲
	6-2-2-01 (08)カリキュラムマップ(大学院博士後期比較地域文化)		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-3-1] 教育課程の編成が、体系性を有していること	・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別） 6-3-1-01 (08)カリキュラム一覧		
	・体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等） 2-3-1-14 琉球大学における大学院教育(修士課程・博士課程・博士前期課程・博士後期課程・専門職学位課程)で用いる科目番号に関するガイドライン15		再掲
	6-2-2-01 (08)カリキュラムマップ(大学院博士後期比較地域文化)		再掲
[分析項目6-3-2] 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	・分野別第三者評価の結果		
	・学則等の授業科目の時間数に関する規定 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第26条	再掲
	・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料		
	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		
	・その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況が分かる資料 2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲
[分析項目6-3-3] 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	・明文化された規定類 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第17条、19条	再掲
[分析項目6-3-4] 大学院課程（専門職学位課程を除く。）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む。）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という。）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	・研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等） 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第15条	再掲
	6-3-4-02 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科規程	第4条	
	6-3-4-01 (00)琉球大学大学院研究指導計画書の作成に関する申合せ		
	・研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料 6-3-4-03 (08)研究指導計画_博士学位取得プロセス	便覧抜粋	
	6-3-4-04 (08)研究指導計画書		
	・国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料		
	・他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料		

	<ul style="list-style-type: none"> ・研究倫理に関する指導が確認できる資料 		
	6-3-4-05 (00)研究倫理教育に関する基本方針		
	6-3-4-06 (08)研究倫理教育実施状況調べ(非公表)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・TA・RAとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、TA・RAの採用、活用状況が確認できる資料 		
	2-5-5-06_国立大学法人琉球大学ティーチング・アシスタント実施要項		再掲
	6-3-4-07 (00)国立大学法人琉球大学リサーチ・アシスタント実施要項		
	6-3-4-08 (08)TAの活用状況(非公表)		
<p>【分析項目6-3-5】 専門職大学院又は専門職学科を設置している場合には、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程連携協議会の設置・運用に関する規定及び開催実績・内容が確認できる資料 		
<p>【分析項目6-3-6】 連携法曹基礎課程を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連携法科大学院の入学者に求められる基礎的な学識及び能力を修得させるために必要な教育を行うための連携法曹基礎課程における教育課程の編成が確認できる資料等（その他の連携法科大学院における教育と連携法曹基礎課程における教育との円滑な接続を図るために必要な措置も含む。） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携法曹基礎課程における成績評価の基準 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携法曹基礎課程における教育の実施のために必要な連携法科大学院を設置する大学の協力に関する事項が分かる資料 		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-4-1] 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦		
[分析項目6-4-2] 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦 6-4-2-01 (00)琉球大学授業時間割編成基準 6-4-2-02 (00)琉球大学クォーター科目実施方針		再掲
[分析項目6-4-3] 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-4] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・シラバスの全件、全項目が確認できる資料(電子シラバスのデータ(csv)等) 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-5] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・教育上主要と認める授業科目(別紙様式6-4-4) 6-4-4 (08)教育上主要と認める授業科目		
[分析項目6-4-6] 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-7] 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	・CAP制に関する規定		
[分析項目6-4-8] 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	・大学院学則 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第23条	再掲
[分析項目6-4-9] 薬学に関する学部又は学科のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものを設置している場合は、必要な施設を確保し、薬学実務実習を実施していること	・薬学実務実習に必要な施設の状況及び実習の実施状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-10] 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	・連携協力校との連携状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-11] 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること	・実施している配慮が確認できる資料		

<p>[分析項目6-4-10] 通信教育を行う課程を置いている場合は、印刷教材等による授業、放送授業、面接授業（スクーリングを含む。）若しくはメディアを利用して行う授業の実施方法が整備され、指導が行われていること</p>	<p>・授業の実施方法（同時性・非同時性、双方向性・非双方向性）について確認できる資料（シラバス、履修要項、教材等の該当箇所）</p> <p>・添削等による指導、質問の受付、チューターの利用、学生間のコミュニケーション等、対面授業と同等以上の教育効果を確保するための方法について確認できる資料</p> <p>・電話・郵便・電子メール等による教育相談、助言体制及びそれらを周知する資料、ウェブサイトによる情報提供等の実施体制及び実施状況が確認できる資料</p> <p>・教育相談、助言の利用実績が確認できる資料</p>		
<p>[分析項目6-4-11] 専門職学科を設置している場合は、授業を行う学生数が法令に則していること</p>	<p>・法令に則した授業を行う学生数に関して、規定や申合せ等組織として決定していることが確認できる資料</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>[分析項目6-4-1] 授業期間及び予備日、試験期間、オリエンテーション期間等を含め35週を確保している。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-5-1] 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	・履修指導の実施状況(別紙様式6-5-1)		
	6-5-1 (08)履修指導の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、履修指導の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-2] 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	・学習相談の実施状況(別紙様式6-5-2)		
	6-5-2 (08)学習相談の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、学習相談の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-3] 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組(別紙様式6-5-3)		
	6-5-3 (08)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組		
	・インターンシップを実施している場合は、その実施状況が確認できる資料(実施要項、提携・受入企業、派遣実績等)		
[分析項目6-5-4] 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況(別紙様式6-5-4)		
	6-5-4 (08)履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況		
	・チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料		
	6-5-4-01 (00)チューターの手引き(非公表)		
	6-5-4-02 (00)R4年度チューター活動実績(非公表)		
	・留学生に対する外国語による情報提供(時間割、シラバス等)を行っている場合は、その該当箇所		
	4-2-3-01 外国人留学生ガイドブック2023		再掲
	6-5-4-06 (08)音韻論(英語)		
	・障害のある学生に対する支援(ノートテーカー等)を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料		
	4-2-1-17 障がい学生支援室ガイド		再掲
[分析項目6-5-5] 正規学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること(より望ましい取組として分析)	・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況(受講者数等)が確認できる資料		
	6-5-4-03 (00)外国人研究生・大学院生のための日本語クラス		
	6-5-4-04 (00)レベル別コースモデル		
	・学習支援の利用実績が確認できる資料		
	6-5-4-05 (00)R4年度主な合理的配慮提供例(非公表)		
・国内学生海外派遣実績(別紙様式6-5-5)			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-6-1] 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	・成績評価基準		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第41条	再掲
	6-3-4-02 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科規程		再掲
	6-6-1-01 (00)琉球大学における成績評価に関するガイドライン		
	6-6-1-02 (08)人文社会科学研究科博士後期課程における学位論文審査の評価基準に関する申合せ		
[分析項目6-6-2] 成績評価基準を学生に周知していること	・成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所		
	6-6-2-01 (08)人文社会科学研究科便覧		
[分析項目6-6-3] 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	・成績評価の分布表		
	6-6-3-01 (08)人文社会科学研究科成績評価の分布表(非公表)		
	・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料		
	6-6-3-02 (00)成績評価の状況に関する点検について(依頼)(非公表)		
	6-6-3-03 (08)成績評価の状況に関する点検報告シート(非公表)		
	・GPA制度の目的と実施状況について分かる資料		
	・(個人指導等が中心となる科目の場合)成績評価の客観性を担保するための措置について分かる資料		
[分析項目6-6-4] 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	6-6-4-01 (00)琉球大学大学院における成績評価不服申立に関する申合せ		
	6-6-4-02 (00)学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		
	6-6-4-03 (00)令和4年度成績不服申立状況(非公表)		
	・成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)を保存することを定めている規定類		
6-6-4-04 (00)琉球大学における成績根拠資料の保存等に関する申合せ			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-7-1] 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	・卒業又は修了の要件を定めた規定 1-3-1-03 琉球大学大学院学則		再掲
	6-3-4-02 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科規程		再掲
	・卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料 6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則		
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則	第3条	再掲
	1-3-2-10 琉球大学大学院人文社会科学研究科委員会規程	第2条	再掲
[分析項目6-7-2] 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文評価基準」という。）を組織として策定していること	・学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準 6-7-2-01 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科における学位に関する細則		
	6-3-4-02 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科規程		再掲
	6-6-1-02 (08)人文社会科学研究科博士後期課程における学位論文審査の評価基準に関する申合せ		再掲
	・修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料 6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則		再掲
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則		再掲
	1-3-2-10 琉球大学大学院人文社会科学研究科委員会規程		再掲
[分析項目6-7-3] 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知していること	・卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所 6-6-2-01 (08)人文社会科学研究科便覧		再掲
[分析項目6-7-4] 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）に則して組織的に実施していること	・教授会等での審議状況等の資料 6-7-4-01 (08)第6回人文社会科学研究科委員会議事要旨(非公表)		
	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 6-7-2-01 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科における学位に関する細則		再掲
	6-6-1-02 (08)人文社会科学研究科博士後期課程における学位論文審査の評価基準に関する申合せ		再掲
	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料 6-7-2-01 (08)琉球大学大学院人文社会科学研究科における学位に関する細則		再掲
[分析項目6-7-5] 専門職学科を設置している場合は、法令に則して卒業要件が定められていること	・法令に則した卒業要件が組織として定められていることが確認できる資料		

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) 「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
	・資格の取得者数が確認できる資料		
	・論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料 6-8-1-01 (08)令和4年度論文の採択・受賞状況(非公表)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2)主な進学/就職先(起業者も含む。)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
	・学校基本調査で提出した「該当する」資料(大学ポートレートにある場合は該当URL) 6-8-2-01 (00)学校基本調査(大学院)		
	・卒業(修了)生の社会での活躍等が確認できる資料(新聞記事等) 6-8-2-02 (08)修了生の社会での活躍等が確認できる資料(非公表)		
[分析項目6-8-3] 卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・学生からの意見聴取(学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-3-01 (00)大学院生調査2022(非公表)		
	・卒業(修了)後、一定年限を経過した卒業(修了)生についての意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-4-01 (00)卒業(修了)生及び就職先等アンケートの集計結果について(非公表)		
[分析項目6-8-4] 卒業(修了)後一定期間の就業経験等を経た卒業(修了)生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-4-01 (00)卒業(修了)生及び就職先等アンケートの集計結果について(非公表)		再掲
	6-8-5-01 (00)令和4年度合同企業説明会アンケート結果(非公表)		
	・教育の国際化の取組の概要及びその結果が確認できる資料		
[分析項目6-8-6] 教育の国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること(より望ましい取組として分析)			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※全ての教育課程について、第三者評価結果の活用なし

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-1-1] 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	・策定された学位授与方針		
	6-1-1-01 (09)地域共創 公共社会 DP		
	6-1-1-02 (09)地域共創 経済経営 DP		
	6-1-1-03 (09)地域共創 言語表象 DP		
	6-1-1-04 (09)地域共創 文化・環境 DP		
	6-1-1-05 (09)地域共創 臨床心理 DP		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
【分析項目6-2-1】 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	・策定された教育課程方針		
	6-2-1-01 (09)地域共創 公共社会 CP		
	6-2-1-02 (09)地域共創 経済経営 CP		
	6-2-1-03 (09)地域共創 言語表象 CP		
	6-2-1-04 (09)地域共創 文化・環境 CP		
	6-2-1-05 (09)地域共創 臨床心理 CP		
【分析項目6-2-2】 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	・策定された教育課程方針及び学位授与方針		
	6-1-1-01 (09)地域共創 公共社会 DP		再掲
	6-1-1-02 (09)地域共創 経済経営 DP		再掲
	6-1-1-03 (09)地域共創 言語表象 DP		再掲
	6-1-1-04 (09)地域共創 文化・環境 DP		再掲
	6-1-1-05 (09)地域共創 臨床心理 DP		再掲
	6-2-1-01 (09)地域共創 公共社会 CP		再掲
	6-2-1-02 (09)地域共創 経済経営 CP		再掲
	6-2-1-03 (09)地域共創 言語表象 CP		再掲
	6-2-1-04 (09)地域共創 文化・環境 CP		再掲
	6-2-1-05 (09)地域共創 臨床心理 CP		再掲
	6-2-2-01 (09)地域共創 公共社会 カリキュラムマップ		
	6-2-2-02 (09)地域共創 経済経営 カリキュラムマップ		
	6-2-2-03 (09)地域共創 言語表象 カリキュラムマップ		
	6-2-2-04 (09)地域共創 文化・環境 カリキュラムマップ		
	6-2-2-05 (09)地域共創 臨床心理 カリキュラムマップ		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-3-1] 教育課程の編成が、体系性を有していること	・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）		
	6-3-1-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科規程	別表	
	・体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等）		
	2-3-1-14 琉球大学における大学院教育(修士課程・博士課程・博士前期課程・博士後期課程・専門職学位課程)で用いる科目番号に関するガイドライン15		再掲
	6-2-2-01 (09)地域共創 公共社会 カリキュラムマップ		再掲
	6-2-2-02 (09)地域共創 経済経営 カリキュラムマップ		再掲
	6-2-2-03 (09)地域共創 言語表象 カリキュラムマップ		再掲
	6-2-2-04 (09)地域共創 文化・環境 カリキュラムマップ		再掲
[分析項目6-3-2] 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	6-2-2-05 (09)地域共創 臨床心理 カリキュラムマップ		再掲
	・分野別第三者評価の結果		
	・学則等の授業科目の時間数に関する規定		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第26条	再掲
	・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料		
	・シラバス		
	6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		
	・その他自己点検・評価において体系性や水準に関する検証を実施している場合はその状況が分かる資料		
[分析項目6-3-3] 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲
	・明文化された規定類		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第17条、19条	再掲

<p>[分析項目6-3-4] 大学院課程（専門職学位課程を除く。）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む。）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という。）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること</p>	・研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第15条	再掲
	6-3-1-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科規程	第4条	再掲
	6-3-4-01 (00)琉球大学大学院研究指導計画書の作成に関する申合せ		
	・研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料		
	6-3-4-09 (09)研究指導計画 修士学位取得プロセス	便覧抜粋	
	6-3-4-02 (09)研究指導計画・研究課題届(地域共創研究科)等		
	・国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料		
	・他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料		
	6-3-4-03 (09)沖縄県4大学(沖縄大学・沖縄国際大学・名桜大学・琉球大学)の人文社会科学系大学院間の単位互換に関する協定書(非公表)		
	6-3-4-04 (09)沖縄県4大学(沖縄大学・沖縄国際大学・名桜大学・琉球大学)の人文社会科学系大学院間の単位互換に関する協定書についての覚書(非公表)		
	・研究倫理に関する指導が確認できる資料		
	6-3-4-05 (00)研究倫理教育に関する基本方針		
	6-3-4-06 (09)研究倫理教育実施状況調べ(非公表)		
	・TA・RAとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、TA・RAの採用、活用状況が確認できる資料		
2-5-5-06 国立大学法人琉球大学ティーチング・アシスタント実施要項		再掲	
6-3-4-07 (00)国立大学法人琉球大学リサーチ・アシスタント実施要項			
6-3-4-08 (09)TAの活用状況(非公表)			

<p>【分析項目6-3-5】 専門職大学院又は専門職学科を設置している場合には、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること</p>	<p>・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）</p> <p>・教育課程連携協議会の設置・運用に関する規定及び開催実績・内容が確認できる資料</p>		
<p>【分析項目6-3-6】 連携法曹基礎課程を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されていること</p>	<p>・連携法科大学院の入学者に求められる基礎的な学識及び能力を修得させるために必要な教育を行うための連携法曹基礎課程における教育課程の編成が確認できる資料等（その他の連携法科大学院における教育と連携法曹基礎課程における教育との円滑な接続を図るために必要な措置も含む。）</p> <p>・連携法曹基礎課程における成績評価の基準</p> <p>・連携法曹基礎課程における教育の実施のために必要な連携法科大学院を設置する大学の協力に関する事項が分かる資料</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。</p>			
<p>■ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-4-1] 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦		
[分析項目6-4-2] 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦 6-4-2-01 (00)琉球大学授業時間割編成基準 6-4-2-02 (00)琉球大学クォーター科目実施方針		再掲
[分析項目6-4-3] 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-4] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・シラバスの全件、全項目が確認できる資料(電子シラバスのデータ(csv)等) 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-5] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・教育上主要と認める授業科目(別紙様式6-4-4) 6-4-4 (09)教育上主要と認める授業科目		
[分析項目6-4-6] 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-7] 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	・CAP制に関する規定		
[分析項目6-4-8] 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	・大学院学則 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第23条	再掲
[分析項目6-4-9] 薬学に関する学部又は学科のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものを設置している場合は、必要な施設を確保し、薬学実務実習を実施していること	・薬学実務実習に必要な施設の状況及び実習の実施状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-10] 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	・連携協力校との連携状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-11] 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること	・実施している配慮が確認できる資料		

<p>[分析項目6-4-10] 通信教育を行う課程を置いている場合は、印刷教材等による授業、放送授業、面接授業（スクーリングを含む。）若しくはメディアを利用して行う授業の実施方法が整備され、指導が行われていること</p>	<p>・授業の実施方法（同時性・非同時性、双方向性・非双方向性）について確認できる資料（シラバス、履修要項、教材等の該当箇所）</p> <p>・添削等による指導、質問の受付、チューターの利用、学生間のコミュニケーション等、対面授業と同等以上の教育効果を確保するための方法について確認できる資料</p> <p>・電話・郵便・電子メール等による教育相談、助言体制及びそれらを周知する資料、ウェブサイトによる情報提供等の実施体制及び実施状況が確認できる資料</p> <p>・教育相談、助言の利用実績が確認できる資料</p>		
<p>[分析項目6-4-11] 専門職学科を設置している場合は、授業を行う学生数が法令に則していること</p>	<p>・法令に則した授業を行う学生数に関して、規定や申合せ等組織として決定していることが確認できる資料</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>[分析項目6-4-1] 授業期間及び予備日、試験期間、オリエンテーション期間等を含め35週を確保している。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-5-1] 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	・履修指導の実施状況(別紙様式6-5-1)		
	6-5-1 (09)履修指導の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、履修指導の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-2] 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	・学習相談の実施状況(別紙様式6-5-2)		
	6-5-2 (09)学習相談の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、学習相談の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-3] 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組(別紙様式6-5-3)		
	6-5-3 (09)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組		
	・インターンシップを実施している場合は、その実施状況が確認できる資料(実施要項、提携・受入企業、派遣実績等)		
[分析項目6-5-4] 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況(別紙様式6-5-4)		
	6-5-4 (09)履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況		
	・チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料		
	6-5-4-01 (00)チューターの手引き(非公表)		
	6-5-4-02 (00)R4年度チューター活動実績(非公表)		
	・留学生に対する外国語による情報提供(時間割、シラバス等)を行っている場合は、その該当箇所		
	4-2-3-01 外国人留学生ガイドブック2023		再掲
	・障害のある学生に対する支援(ノートテーカー等)を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料		
	4-2-1-17 障がい学生支援室ガイド		再掲
	・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況(受講者数等)が確認できる資料		
6-5-4-03 (00)外国人研究生・大学院生のための日本語クラス			
6-5-4-04 (00)レベル別コースモデル			
・学習支援の利用実績が確認できる資料			
6-5-4-05 (00)R4年度主な合理的配慮提供例(非公表)			
[分析項目6-5-5] 正規学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること(より望ましい取組として分析)	・国内学生海外派遣実績(別紙様式6-5-5)		

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-6-1] 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	・ 成績評価基準		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第41条	再掲
	6-6-1-01 (00)琉球大学における成績評価に関するガイドライン 6-6-1-02 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における修士成果物の審査の観点・基準		
[分析項目6-6-2] 成績評価基準を学生に周知していること	・ 成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所		
	6-6-2-01 (09)地域共創研究科便覧	学則第41条、修士成果物の審査の観点・基準	
[分析項目6-6-3] 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	・ 成績評価の分布表		
	6-6-3-01 (09)地域共創研究科成績評価の分布表(非公表)		
	・ 成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料		
	6-6-3-02 (00)成績評価の状況に関する点検について(依頼)(非公表)		
	6-6-3-03 (09)令和5年度第1回教務委員会議事要旨(非公表)		
	6-6-3-04 (09)成績評価の状況に関する点検報告シート(非公表)		
	・ GPA制度の目的と実施状況について分かる資料		
・ (個人指導等が中心となる科目の場合) 成績評価の客観性を担保するための措置について分かる資料			
[分析項目6-6-4] 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	6-6-4-01 (00)琉球大学大学院における成績評価不服申立に関する申合せ		
	6-6-4-02 (00)学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	・ 申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		
	6-6-4-03 (00)令和4年度成績不服申立状況(非公表)		
・ 成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)を保存することを定めている規定類			
6-6-4-04 (00)琉球大学における成績根拠資料の保存等に関する申合せ			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-7-1] 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	・卒業又は修了の要件を定めた規定		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第42条	再掲
	6-3-1-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科規程		再掲
	・卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料		
	6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則		
[分析項目6-7-2] 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文評価基準」という。）を組織として策定していること	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則	第3条	再掲
	・学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準		
	6-7-2-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における学位に関する細則	第6条	
	6-3-1-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科規程		再掲
	6-6-1-02 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における修士成果物の審査の観点・基準		再掲
	・修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料		
[分析項目6-7-3] 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知していること	6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則		再掲
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則	第3条	再掲
	・卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所		
[分析項目6-7-4] 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）に則して組織的に実施していること	6-6-2-01 (09)地域共創研究科便覧		再掲
	・教授会等での審議状況等の資料		
	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等		
	6-7-2-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における学位に関する細則		再掲
	6-6-1-02 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における修士成果物の審査の観点・基準		再掲
[分析項目6-7-5] 専門職学科を設置している場合は、法令に則して卒業要件が定められていること	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉 ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料		
	6-7-2-01 (09)琉球大学大学院地域共創研究科における学位に関する細則		再掲
	・法令に則した卒業要件が組織として定められていることが確認できる資料		

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1） 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1） ・資格の取得者数が確認できる資料 ・論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料		
[分析項目6-8-2] 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（過去5年分）（別紙様式6-8-2）主な進学/就職先（起業者も含む。） ・学校基本調査で提出した「該当する」資料（大学ポートレートにある場合は該当URL） ・卒業（修了）生の社会での活躍等が確認できる資料（新聞記事等）		
[分析項目6-8-3] 卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料		
[分析項目6-8-4] 卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料		
[分析項目6-8-5] 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取（アンケート、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料		
[分析項目6-8-6] 教育の国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること（より望ましい取組として分析）	・教育の国際化の取組の概要及びその結果が確認できる資料		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 (リストから選択してください)			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
[分析項目6-8-1] 医学研究科(博士課程)においては、社会人学生が多いため、標準修業年限内の修了率が相当程度低くなっている。改善計画として次の3点を策定し、実施しているところである。1. 社会人学生等、入学段階で長期間の在学が見込まれる学生に対しては、長期履修を活用するよう案内する。2. 入学後に提出する研究計画をもとに、研究の進捗状況を確認する。3. 中間発表会の開催をとおして、研究の進捗状況を確認する。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
[分析項目6-8-1] 保健学研究科(博士前期課程)においては、社会人学生も在籍していることや、社会人学生でなくとも個人の事情(育児や親の介護、病気による)による休学などにより、標準修業年限内の修了率が相当程度低くなっている。また、保健学研究科(博士後期課程)においては、社会人学生が多いため、標準修業年限内の修了率が相当程度低くなっている。改善計画として次の3点を策定し、実施しているところである。1. 社会人学生等、入学段階で長期間の在学が見込まれる学生に対しては、長期履修を活用するよう案内する。2. 入学後に提出する研究計画をもとに、研究の進捗状況を確認する。3. 研究構想報告会、中間報告会の開催をとおして、研究の進捗状況を確認する。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※全ての教育課程について、第三者評価結果の活用なし

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-1-1] 学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	・策定された学位授与方針		
	6-1-1-01 (13)理工 工 博前 DP 08 材料物質工学		
	6-1-1-02 (13)理工 工 博前 DP 09 熱流体工学		
	6-1-1-03 (13)理工 工 博前 DP 10 知能機械システム		
	6-1-1-04 (13)理工 工 博前 DP 11 電気エネルギー・システム制御		
	6-1-1-05 (13)理工 工 博前 DP 12 電子システム・デバイス		
	6-1-1-06 (13)理工 工 博前 DP 13 社会基盤デザイン		
	6-1-1-07 (13)理工 工 博前 DP 14 建築学		
	6-1-1-08 (13)理工 工 博前 DP 15 知能情報		
	6-1-1-09 (13)理工 理 博前 DP 16 数理科学		
	6-1-1-10 (13)理工 理 博前 DP 17 物質地球科学		
	6-1-1-11 (13)理工 理 博前 DP 18 海洋自然科学		
	6-1-1-12 (13)理工 工 博後 DP 23 生産エネルギー工学		
	6-1-1-13 (13)理工 工 博後 DP 24 総合知能工学		
	6-1-1-14 (13)理工 理 博後 DP 25 海洋環境学		
6-1-1-15 (13)理工 理 博後 DP 25 海洋環境学(修正案)(非公表)			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
【分析項目6-1-1】 海洋環境学大学院教育プログラム：「6-1-1-14_(13)理工_理_博後_DP_25_海洋環境学」については、令和5年度に内容を見直し、「6-1-1-15_(13)理工_理_博後_DP_25_海洋環境学(修正案)(非公表)」を作成した。なお、修正版のDPは令和6年度に公開予定である。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-2-1] 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	・策定された教育課程方針		
	6-2-1-01 (13)理工 工 博前 CP 08 材料物質工学		
	6-2-1-02 (13)理工 工 博前 CP 09 熱流体工学		
	6-2-1-03 (13)理工 工 博前 CP 10 知能機械システム		
	6-2-1-04 (13)理工 工 博前 CP 11 電気エネルギー・システム制御		
	6-2-1-05 (13)理工 工 博前 CP 12 電子システム・デバイス		
	6-2-1-06 (13)理工 工 博前 CP 13 社会基盤デザイン		
	6-2-1-07 (13)理工 工 博前 CP 14 建築学		
	6-2-1-08 (13)理工 工 博前 CP 15 知能情報		
	6-2-1-09 (13)理工 理 博前 CP 16 数理科学		
	6-2-1-10 (13)理工 理 博前 CP 17 物質地球科学		
	6-2-1-11 (13)理工 理 博前 CP 18 海洋自然科学		
	6-2-1-12 (13)理工 工 博後 CP 23 生産エネルギー工学		
	6-2-1-13 (13)理工 工 博後 CP 24 総合知能工学		
6-2-1-14 (13)理工 理 博後 CP 25 海洋環境学			
[分析項目6-2-2] 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	・策定された教育課程方針及び学位授与方針		
	6-1-1-01 (13)理工 工 博前 DP 08 材料物質工学		再掲
	6-1-1-02 (13)理工 工 博前 DP 09 熱流体工学		再掲
	6-1-1-03 (13)理工 工 博前 DP 10 知能機械システム		再掲
	6-1-1-04 (13)理工 工 博前 DP 11 電気エネルギー・システム制御		再掲
	6-1-1-05 (13)理工 工 博前 DP 12 電子システム・デバイス		再掲
	6-1-1-06 (13)理工 工 博前 DP 13 社会基盤デザイン		再掲
	6-1-1-07 (13)理工 工 博前 DP 14 建築学		再掲
	6-1-1-08 (13)理工 工 博前 DP 15 知能情報		再掲
	6-1-1-09 (13)理工 理 博前 DP 16 数理科学		再掲
	6-1-1-10 (13)理工 理 博前 DP 17 物質地球科学		再掲
	6-1-1-11 (13)理工 理 博前 DP 18 海洋自然科学		再掲
	6-1-1-12 (13)理工 工 博後 DP 23 生産エネルギー工学		再掲
	6-1-1-13 (13)理工 工 博後 DP 24 総合知能工学		再掲
	6-1-1-14 (13)理工 理 博後 DP 25 海洋環境学		再掲
6-1-1-15 (13)理工 理 博後 DP 25 海洋環境学(修正案)(非公表)		再掲	

6-2-1-01 (13)理工 工 博前 CP 08 材料物質工学		再掲
6-2-1-02 (13)理工 工 博前 CP 09 熱流体工学		再掲
6-2-1-03 (13)理工 工 博前 CP 10 知能機械システム		再掲
6-2-1-04 (13)理工 工 博前 CP 11 電気エネルギー・システム制御		再掲
6-2-1-05 (13)理工 工 博前 CP 12 電子システム・デバイス		再掲
6-2-1-06 (13)理工 工 博前 CP 13 社会基盤デザイン		再掲
6-2-1-07 (13)理工 工 博前 CP 14 建築学		再掲
6-2-1-08 (13)理工 工 博前 CP 15 知能情報		再掲
6-2-1-09 (13)理工 理 博前 CP 16 数理科学		再掲
6-2-1-10 (13)理工 理 博前 CP 17 物質地球科学		再掲
6-2-1-11 (13)理工 理 博前 CP 18 海洋自然科学		再掲
6-2-1-12 (13)理工 工 博後 CP 23 生産エネルギー工学		再掲
6-2-1-13 (13)理工 工 博後 CP 24 総合知能工学		再掲
6-2-1-14 (13)理工 理 博後 CP 25 海洋環境学		再掲
6-2-2-01 (13)理工学研究科(博士前期課程・工学系)カリキュラムマップ(各プログラム)		
6-2-2-02 (13)理工学研究科(博士前期課程・工学系)履修モデル(各プログラム)		
6-2-2-03 (13)理工学研究科(博士前期課程・数理科学)カリキュラムマップ		
6-2-2-04 (13)理工学研究科(博士前期課程・物質地球科学)カリキュラムマップ		
6-2-2-05 (13)理工学研究科(博士前期課程・海洋自然科学)カリキュラムマップ		
6-2-2-06 (13)理工学研究科(博士後期課程・生産エネルギー)カリキュラムマップ		
6-2-2-07 (13)理工学研究科(博士後期課程・総合知能工学)カリキュラムマップ		
6-2-2-08 (13)理工学研究科(博士後期課程・海洋環境学)カリキュラムマップ		

【特記事項】

① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。

② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。

【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。

■ 当該基準を満たす

【優れた成果が確認できる取組】

【改善を要する事項】

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること				
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲	
[分析項目6-3-1] 教育課程の編成が、体系的を有していること	・授業科目の開設状況が確認できる資料(コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別)			
	6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程	別表		
	・体系的が確認できる資料(カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等)			
	2-3-1-14 琉球大学における大学院教育(修士課程・博士課程・博士前期課程・博士後期課程・専門職学位課程)で用いる科目番号に関するガイドライン15		再掲	
	6-2-2-01 (13)理工学研究科(博士前期課程・工学系)カリキュラムマップ(各プログラム)		再掲	
	6-2-2-02 (13)理工学研究科(博士前期課程・工学系)履修モデル(各プログラム)		再掲	
	6-2-2-03 (13)理工学研究科(博士前期課程・数理学系)カリキュラムマップ		再掲	
	6-2-2-04 (13)理工学研究科(博士前期課程・物質地球科学)カリキュラムマップ		再掲	
	6-2-2-05 (13)理工学研究科(博士前期課程・海洋自然科学)カリキュラムマップ		再掲	
	6-2-2-06 (13)理工学研究科(博士後期課程・生産エネルギー)カリキュラムマップ		再掲	
[分析項目6-3-2] 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	・分野別第三者評価の結果			
	・学則等の授業科目の時間数に関する規定			
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第26条	再掲	
	・日本学術会議による参照基準等に準拠した内容になっていることが確認できる資料			
	・シラバス			
	6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス			
	・その他自己点検・評価において体系的や水準に関する検証を実施している場合はその状況が分かる資料			
	2-1-2-01 琉球大学における教育の質保証に関する要項		再掲	
	[分析項目6-3-3] 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	・明文化された規定類		
		1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第17条、19条	再掲

<p>[分析項目6-3-4] 大学院課程（専門職学位課程を除く。）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む。）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という。）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること</p>	・研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等） 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第15条	再掲
	6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程	第6条	再掲
	6-3-4-01 (00)琉球大学大学院研究指導計画書の作成に関する申合せ		
	6-3-4-02 (13)琉球大学理工学研究科研究指導計画に関する申合せ		
	・研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料 6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程	第14条	再掲
	6-3-4-03 (13)研究指導概要(日本語版)		
	6-3-4-04 (13)研究指導概要(英語版)		
	6-3-4-08 (13)研究指導計画書(日本語版)		
	6-3-4-09 (13)研究指導計画書(英語版)		
	・国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料 6-3-4-10 (13)学会参加促進を確認できる資料(修学の手引き)		
	6-3-4-11 (13)学会参加促進を確認できる資料(非公表)		
	・他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料		
	・研究倫理に関する指導が確認できる資料 6-3-4-12 (13)工学の倫理と社会実践		
	6-3-4-05 (00)研究倫理教育に関する基本方針 6-3-4-06 (13)研究倫理教育実施状況調べ(非公表)		
	・TA・RAとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、TA・RAの採用、活用状況が確認できる資料 2-5-5-06 国立大学法人琉球大学ティーチング・アシスタント実施要項		再掲
	6-3-4-07 (00)国立大学法人琉球大学リサーチ・アシスタント実施要項 6-3-4-13 (13)TARA活用状況(R4年度)(非公表) 6-3-4-14 (13)TA担当科目一覧(R4年度) 共通科目除く(非公表)		
	<p>[分析項目6-3-5] 専門職大学院又は専門職学科を設置している場合には、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること</p>	・授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）	
・教育課程連携協議会の設置・運用に関する規定及び開催実績・内容が確認できる資料			

【分析項目6-3-6】 連携法曹基礎課程を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されていること	・連携法科大学院の入学者に求められる基礎的な学識及び能力を修得させるために必要な教育を行うための連携法曹基礎課程における教育課程の編成が確認できる資料等（その他の連携法科大学院における教育と連携法曹基礎課程における教育との円滑な接続を図るために必要な措置も含む。）		
	・連携法曹基礎課程における成績評価の基準		
	・連携法曹基礎課程における教育の実施のために必要な連携法科大学院を設置する大学の協力に関する事項が分かる資料		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-4-1] 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦		
[分析項目6-4-2] 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げていること	・1年間の授業を行う期間が確認できる資料(学年暦、年間スケジュール等) 6-4-1-01 (00)琉球大学学年暦 6-4-2-01 (00)琉球大学授業時間割編成基準 6-4-2-02 (00)琉球大学クォーター科目実施方針		再掲
[分析項目6-4-3] 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-4] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・シラバスの全件、全項目が確認できる資料(電子シラバスのデータ(csv)等) 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-5] 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	・教育上主要と認める授業科目(別紙様式6-4-4) 6-4-4 (13)教育上主要と認める授業科目		
[分析項目6-4-6] 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること	・シラバス 6-3-2-01 (00)令和5年度シラバス		再掲
[分析項目6-4-7] 専門職大学院を設置している場合は、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること	・CAP制に関する規定		
[分析項目6-4-8] 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていること	・大学院学則 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第23条	再掲
[分析項目6-4-9] 薬学に関する学部又は学科のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものを設置している場合は、必要な施設を確保し、薬学実務実習を実施していること	・薬学実務実習に必要な施設の状況及び実習の実施状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-10] 教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	・連携協力校との連携状況が確認できる資料		
[分析項目6-4-11] 夜間において授業を実施している課程を置いている場合は、配慮を行っていること	・実施している配慮が確認できる資料		

<p>[分析項目6-4-10] 通信教育を行う課程を置いている場合は、印刷教材等による授業、放送授業、面接授業（スクーリングを含む。）若しくはメディアを利用して行う授業の実施方法が整備され、指導が行われていること</p>	<p>・授業の実施方法（同時性・非同時性、双方向性・非双方向性）について確認できる資料（シラバス、履修要項、教材等の該当箇所）</p> <p>・添削等による指導、質問の受付、チューターの利用、学生間のコミュニケーション等、対面授業と同等以上の教育効果を確保するための方法について確認できる資料</p> <p>・電話・郵便・電子メール等による教育相談、助言体制及びそれらを周知する資料、ウェブサイトによる情報提供等の実施体制及び実施状況が確認できる資料</p> <p>・教育相談、助言の利用実績が確認できる資料</p>		
<p>[分析項目6-4-11] 専門職学科を設置している場合は、授業を行う学生数が法令に則していること</p>	<p>・法令に則した授業を行う学生数に関して、規定や申合せ等組織として決定していることが確認できる資料</p>		
<p>【特記事項】</p>			
<p>① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p>			
<p>[分析項目6-4-1] 授業期間及び予備日、試験期間、オリエンテーション期間等を含め35週を確保している。</p>			
<p>② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</p>			
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ☒ 当該基準を満たす</p>			
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p>			
<p>【改善を要する事項】</p>			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-5-1] 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	・履修指導の実施状況（別紙様式6-5-1）		
	6-5-1 (13)履修指導の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、履修指導の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-2] 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	・学習相談の実施状況（別紙様式6-5-2）		
	6-5-2 (13)学習相談の実施状況		
	・通信教育を行う課程を置いている場合は、学習相談の体制が確認できる資料		
[分析項目6-5-3] 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式6-5-3）		
	6-5-3 (13)社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組		
	・インターンシップを実施している場合は、その実施状況が確認できる資料（実施要項、提携・受入企業、派遣実績等）		
	6-5-3-01 (13)インターンシップⅠ		
	6-5-3-02 (13)インターンシップⅡ		
	6-5-3-03 (13)インターンシップⅢ		
	6-5-3-04 (13)インターンシップⅣ		
6-5-3-05 (13)国際インターンシップⅠ			

<p>【分析項目6-5-4】 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること</p>	・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式6-5-4）		
	6-5-4 (13)履修上特別な支援を要する学生等に対する学修支援の状況		
	・チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料		
	6-5-4-01 (00)チューターの手引き(非公表)		
	6-5-4-02 (00)R4年度チューター活動実績(非公表)		
	・留学生に対する外国語による情報提供（時間割、シラバス等）を行っている場合は、その該当箇所		
	4-2-3-01 外国人留学生ガイドブック2023		再掲
	6-5-4-06 (13)留学生用便覧		
	6-5-4-07 (13)留学生用シラバス(Advanced Fluid Mechanics)		
	6-5-4-08 (13)留学生用時間割配当表		
	・障害のある学生に対する支援（ノートテーカー等）を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料		
	4-2-1-17 障がい学生支援室ガイド		再掲
	・特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況（受講者数等）が確認できる資料		
6-5-4-03 (00)外国人研究生・大学院生のための日本語クラス			
6-5-4-04 (00)レベル別コースモデル			
・学習支援の利用実績が確認できる資料			
6-5-4-05 (00)R4年度主な合理的配慮提供例(非公表)			
【分析項目6-5-5】 正規学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること（より望ましい取組として分析）	・国内学生海外派遣実績（別紙様式6-5-5）		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-6-1] 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	・成績評価基準		
	1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第41条	再掲
	6-6-1-01 (00)琉球大学における成績評価に関するガイドライン		
	6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程	第18条	再掲
	6-6-1-02 (13)理工学研究科博士前期課程論文審査基準		
	6-6-1-03 (13)理工学研究科博士後期課程論文審査基準		
[分析項目6-6-2] 成績評価基準を学生に周知していること	・成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所		
	6-6-2-01 (13)理工学研究科便覧	学則第41条	
[分析項目6-6-3] 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	・成績評価の分布表		
	6-6-3-01 (13)理工学研究科成績評価の分布表(非公表)		
	・成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料		
	6-6-3-02 (00)成績評価の状況に関する点検について(依頼)(非公表)		
	6-6-3-03 (13)第1回学部・大学院教育委員会議事録(工学系)(非公表)		
	6-6-3-04 (13)成績評価の状況に関する点検報告シート(非公表)		
	6-6-3-05 (13)第3回教育委員会回答票(理学系)(非公表)		
	・GPA制度の目的と実施状況について分かる資料		
	・(個人指導等が中心となる科目の場合)成績評価の客観性を担保するための措置について分かる資料		
[分析項目6-6-4] 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	・学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	6-6-4-01 (00)琉球大学大学院における成績評価不服申立に関する申合せ		
	6-6-4-02 (00)学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料		
	・申立ての内容及びその対応、申立ての件数等の資料・データ		
	6-6-4-03 (00)令和4年度成績不服申立状況(非公表)		
	・成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)を保存することを定めている規定類		
6-6-4-04 (00)琉球大学における成績根拠資料の保存等に関する申合せ			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。			
■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること				
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲	
[分析項目6-7-1] 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	・卒業又は修了の要件を定めた規定 1-3-1-03 琉球大学大学院学則	第42条	再掲	
	6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程		再掲	
	・卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料 6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則			
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則	第3条	再掲	
	1-3-2-14 琉球大学大学院理工学研究科委員会規程	第3条、第8条	再掲	
[分析項目6-7-2] 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準（以下「学位論文評価基準」という。）を組織として策定していること	・学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準 6-3-1-01 (13)琉球大学大学院理工学研究科規程	第19条	再掲	
	6-7-2-01 (13)理工学研究科学位授与に関する取扱細則			
	6-6-1-02 (13)理工学研究科博士前期課程論文審査基準		再掲	
	6-6-1-03 (13)理工学研究科博士後期課程論文審査基準		再掲	
	・修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料 6-7-1-01 (00)琉球大学学位規則		再掲	
	1-3-2-01 琉球大学教授会等通則	第3条	再掲	
	1-3-2-14 琉球大学大学院理工学研究科委員会規程	第3条、第8条	再掲	
	1-3-2-13 琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程委員会規程		再掲	
[分析項目6-7-3] 策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知していること	・卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所 6-6-2-01 (13)理工学研究科便覧	学則、研究科規程、学位論文審査基準	再掲	
	・教授会等での審議状況等の資料 6-7-4-01 (13)第10回理工学研究科(前期)委員会議事要旨(非公表) 6-7-4-02 (13)第12回理工学研究科前期課程委員会(工学系)議事要旨(非公表) 6-7-4-03 (13)第11回理工学研究科委員会(博士後期課程)議事要旨(非公表)			
[分析項目6-7-4] 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）に則して組織的に実施していること	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉 ・学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等 6-6-1-02 (13)理工学研究科博士前期課程論文審査基準		再掲	
	6-6-1-03 (13)理工学研究科博士後期課程論文審査基準		再掲	
	6-7-2-01 (13)理工学研究科学位授与に関する取扱細則		再掲	

	<専門職学位課程を除く大学院課程の分析> ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料 6-7-2-01 (13)理工学研究科学位授与に関する取扱細則	第6条	再掲
	6-7-4-04 (13)琉球大学大学院理工学研究科学位論文審査に係る外部審査委員に関する申合せ(非公表)		
【分析項目6-7-5】 専門職学科を設置している場合は、法令に則して卒業要件が定められていること	・法令に則した卒業要件が組織として定められていることが確認できる資料		
【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たす			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) 「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
	・資格の取得者数が確認できる資料		
	・論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料 6-8-1-01 (13)令和4年度論文の採択・受賞状況(非公表)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2)主な進学/就職先(起業者も含む。)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
	・学校基本調査で提出した「該当する」資料(大学ポートレートにある場合は該当URL) 6-8-2-01 (00)学校基本調査(大学院)		
	・卒業(修了)生の社会での活躍等が確認できる資料(新聞記事等) 6-8-2-02 (13)修了生の社会での活躍等が確認できる資料(非公表)		
[分析項目6-8-3] 卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・学生からの意見聴取(学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-3-01 (00)大学院生調査2022(非公表)		
	・卒業(修了)後、一定年限を経過した卒業(修了)生についての意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-4-01 (00)卒業(修了)生及び就職先等アンケートの集計結果について(非公表) 6-8-4-02 (13)修了生アンケート・インタビュー(非公表)		
[分析項目6-8-5] 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	・就職先や進学先等の関係者への意見聴取(アンケート、懇談会、インタビュー等)の概要及びその結果が確認できる資料 6-8-5-01 (00)令和4年度合同企業説明会アンケート結果(非公表)		
	・教育の国際化の取組の概要及びその結果が確認できる資料		
[分析項目6-8-6] 教育の国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること(より望ましい取組として分析)			

【特記事項】			
① 上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。			
【分析項目6-8-1】 理工学研究科においては、社会人学生による職業と学業の両立が困難なことや経済的理由等による休学により、標準修業年限内の修了率が相当程度低くなっている。これらへの対応として、指導教員や学部事務担当者により、経済的支援制度や長期履修制度等の制度を適切に案内し、標準修業年限内に卒業するように努めている。			
② この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。 ■ 当該基準を満たさない			
【優れた成果が確認できる取組】			
【改善を要する事項】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学(進学希望者に対する進学者の割合)の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
[分析項目6-8-1] 農学研究科においては、社会人学生も在籍していることや、社会人学生でなくとも個人の事情(病気等)による休学などにより、標準修業年限内の修了率が相当程度低くなっている。改善計画として次の3点を策定し、実施しているところである。1. 病気等で長期の在学が見込まれる学生には、合理的配慮として長期履修制度を活用するよう指導を行う。2. 研究中間発表会の開催をとおりて、研究の進捗状況を確認する。3. 奨学金や授業料免除等の申請について指導を行う。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

II 基準ごとの自己評価

領域6 教育課程と学習成果に関する基準

※教育課程全体について、第三者評価結果の活用あり：国立大学法人評価（大学改革支援・学位授与機構）

: 「該当なし」

基準6-1 学位授与方針が具体的かつ明確であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-2 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-3 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-4 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-5 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-6 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-7 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること			
【特記事項】			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			

基準6-8 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること			
分析項目	分析項目に係る別紙様式、根拠資料・データ欄	備考	再掲
[分析項目6-8-1] 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・標準修業年限内の卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1) ・「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)(別紙様式6-8-1)		
	6-8-1 (00)標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分)		
[分析項目6-8-2] 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること	・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)(別紙様式6-8-2) 主な進学/就職先(起業者も含む)		
	6-8-2 (00)就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況(過去5年分)		
【特記事項】			
① 上記の別紙様式について補足がある場合には、当該分析項目の番号を明示した上で400字以内で記述すること。			
[分析項目6-8-1] 法務研究科においては、目的が司法試験に合格する法曹を養成することであることから、標準修業年限内の修了率が相対的に低くなっている。対応策として、「未修者教育の充実」へ取り組んでおり、時間を掛けてでも2年次以降で法学既修者と同一課程で学ぶことのできる能力を着実に身につけられるよう未修者への支援を充実させるために、長期履修の申し合わせを定めた。未修者については要件の審査にあたり学生の適性、意欲、能力等に応じて個別に検討を加え、学生が学びやすい学修計画となるよう取り組むとともに、その際の期間も4年(「標準修業年限×1.5」の範囲内)として司法試験への学生の取り組みが極端に先送りされないように配慮した支援となるように努めている。			
② この基準の内容に関して、個性や特色等があれば、根拠資料とともに箇条書きで記述すること。			
活動取組	根拠資料・データ欄	備考	再掲
【優れた成果が確認できる取組】			